

白石市国民健康保険第2期データヘルス計画 中間評価による改訂計画



令和3年3月

白石市

目 次

第 1 章 計画策定の概要	1
1 計画の位置づけ.....	1
2 計画の期間.....	1
3 実施体制.....	1
第 2 章 国民健康保険加入者を取り巻く現状	2
1 白石市の概況.....	2
(1) 人口構成.....	2
(2) 死亡要因.....	4
2 国民健康保険加入者の状況.....	5
(1) 国民健康保険加入者.....	5
3 国民健康保険医療費の状況.....	7
(1) 医療費の状況.....	7
(2) 入院・入院外における疾病の状況.....	11
(3) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の状況.....	14
(4) 生活習慣病治療者の状況.....	15
4 特定健診データの分析.....	17
(1) 特定健診の受診状況.....	17
(2) 特定健診結果の状況.....	21
5 特定保健指導データの分析.....	33
(1) 特定保健指導対象者の状況.....	33
(2) 特定保健指導の利用状況.....	33
第 3 章 保健事業	34
1 保健事業の実施状況.....	34
(1) 現在実施している主な保健事業.....	34
2 第 2 期データヘルス計画における保健事業の中間評価.....	37
(1) 特定健診の受診率の向上.....	37
(2) 特定保健指導の利用率の向上.....	38
(3) 生活習慣病の重症化予防.....	39
(4) 地区分析を取り入れた生活習慣病対策.....	41
3 白石市の健康課題と具体的な事業展開.....	42
(1) 特定健診の受診率の向上.....	42
(2) 特定保健指導の利用率の向上.....	43
(3) 生活習慣病の重症化予防.....	44
(4) 地区分析を取り入れた生活習慣病対策.....	45

第4章 計画の推進	46
1 データヘルス計画の評価と見直し.....	46
2 計画の公表・周知.....	46
3 個人情報の保護.....	46
4 その他.....	46

第1章 計画策定の概要

1 計画の位置づけ

本計画は、国の「健康日本21（第2次）」や宮城県の「第2次みやぎ21健康プラン」、本市の「第2次白石市健康プラン21」、「白石市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画」等関連計画との整合を図り、白石市国民健康保険被保険者の健康づくりや疾病予防・重症化予防に資するものです。

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度を初年度とし、令和5年度までの6か年計画です。

なお、本改訂計画は令和2年度に計画の中間評価を行い、令和3年度から令和5年度までの3年間計画として策定しました。

3 実施体制

本計画の実施について、市民の健康保持増進に関与している各部署と連携するほか、白石市健康づくり推進協議会や白石市国民健康保険運営協議会をとおして外部の学識経験者等、専門的知見を有する第三者からのアドバイスを取り入れ、PDCAサイクルに沿った確実な計画運用ができるようにします。

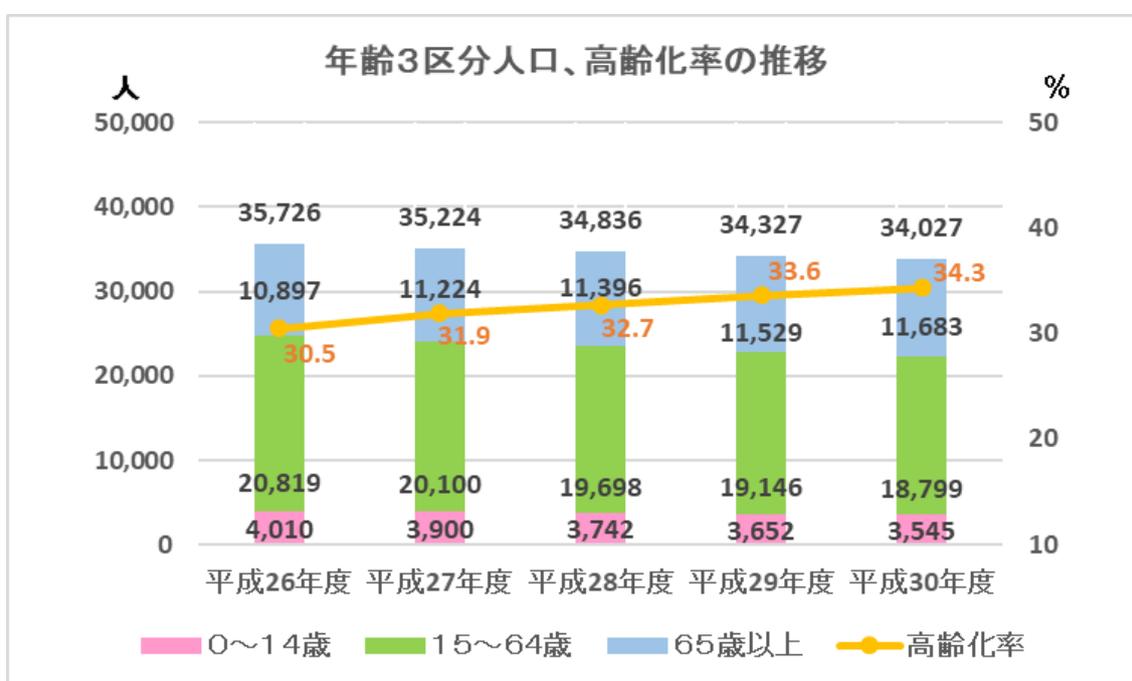
第2章 国民健康保険加入者を取り巻く現状

1 白石市の概況

(1) 人口構成

① 市全体の人口構成

本市の人口は、年々減少しており、平成30年度末には34,027人となっています。また、高齢化率は年々上昇しており、平成30年度には34.3%となっています。

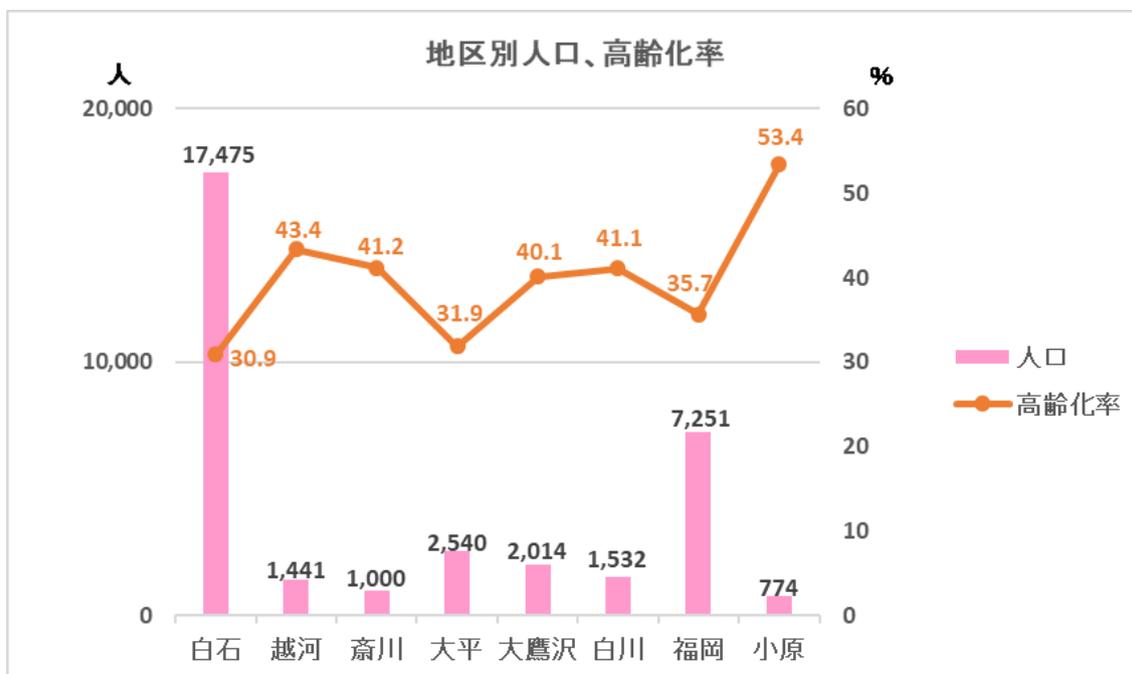


資料：住民基本台帳（各年度末現在）

※人口は日本人のみ

② 地区別人口

地区別人口は、白石が最も多く、17,475 人となっており、次いで、福岡、大平となっています。高齢化率をみると、小原が最も高く 53.4%、次いで越河が 43.4%、斎川が 41.2%となっています。



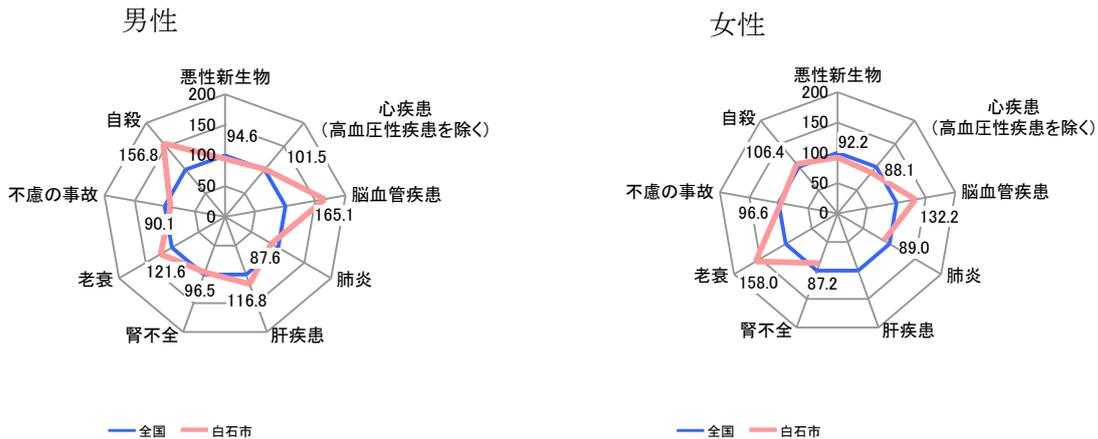
資料：住民基本台帳（平成 31 年 3 月 31 日現在）

(2) 死亡要因

① 主要死因別標準化死亡比 (SMR)

主要死因別標準化死亡比をみると、全国(100.0)に比べ、男女ともに脳血管疾患、老衰、自殺が高く、悪性新生物、肺炎、不慮の事故は100.0を下回っています。

図 主要死因別標準化死亡比 (平成20年～平成24年)

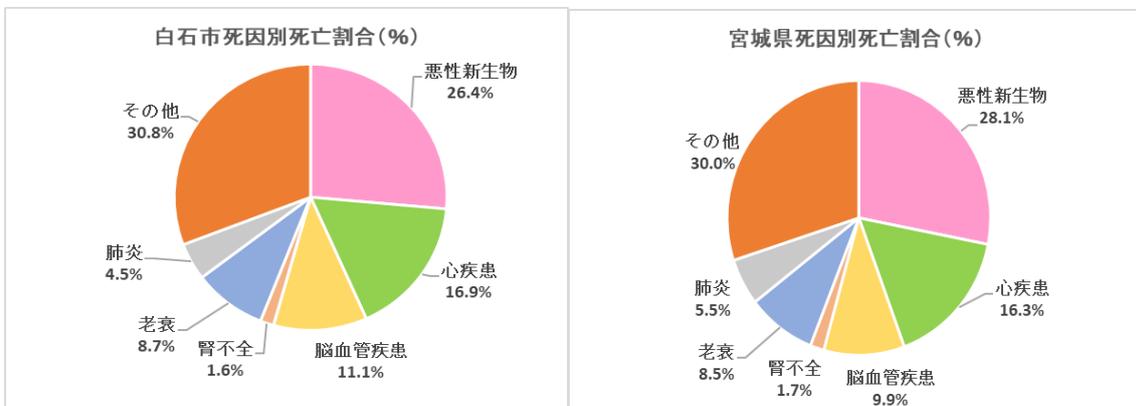


※女性の肝疾患はデータなし

資料：人口動態特殊報告

② 死因別死亡割合

本市の死因別死亡割合は、悪性新生物に次いで心疾患と脳血管疾患が高く、宮城県死因別死亡割合と比較すると脳血管疾患、心疾患の占める割合が高くなっています。また、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、腎不全の生活習慣病が占める割合は56.0%となっており、県も同割合となっています。



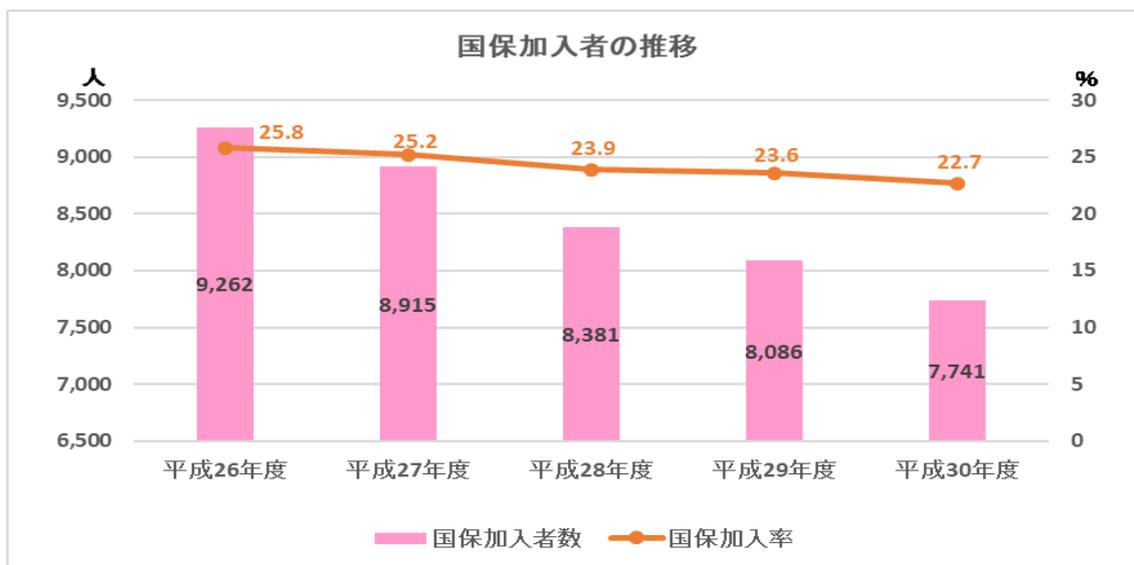
資料：宮城県衛生統計年報 (平成29年)

2 国民健康保険加入者の状況

(1) 国民健康保険加入者

① 国保加入者の推移

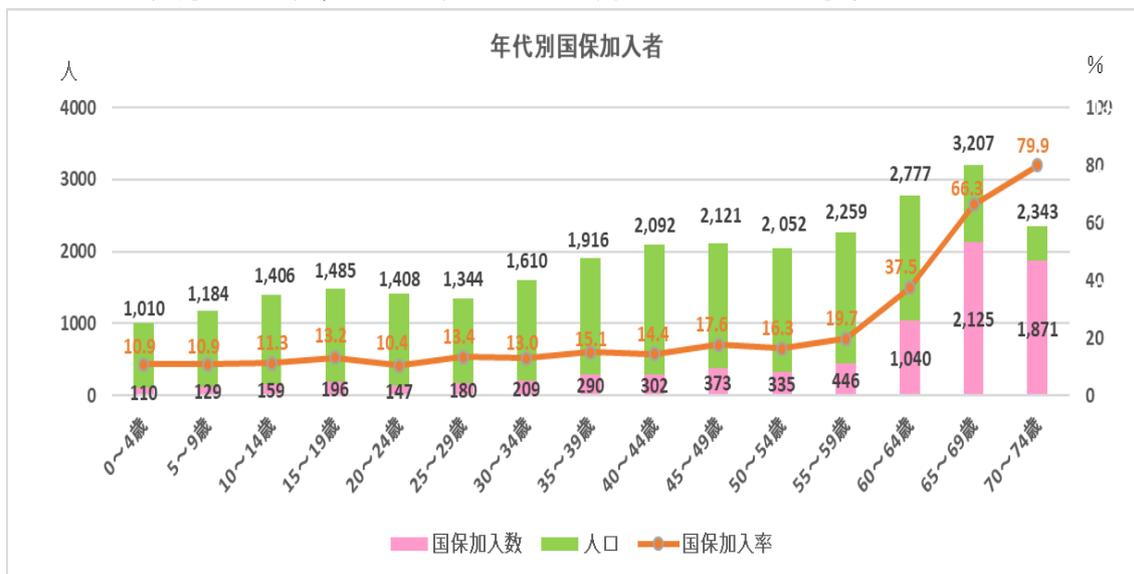
国保加入者数と加入率は年々減少しており、平成30年度末で加入者数は7,741人、加入率は22.7%となっています。



資料：白石市統計書 平成30年版

② 年代別国保加入者

国保加入率は、0～59歳までは20%を下回っていますが、60歳以上の国保加入者数は5,036人となっており、市全体の60歳以上75歳未満人口(8,327人)の60.5%を占めています。

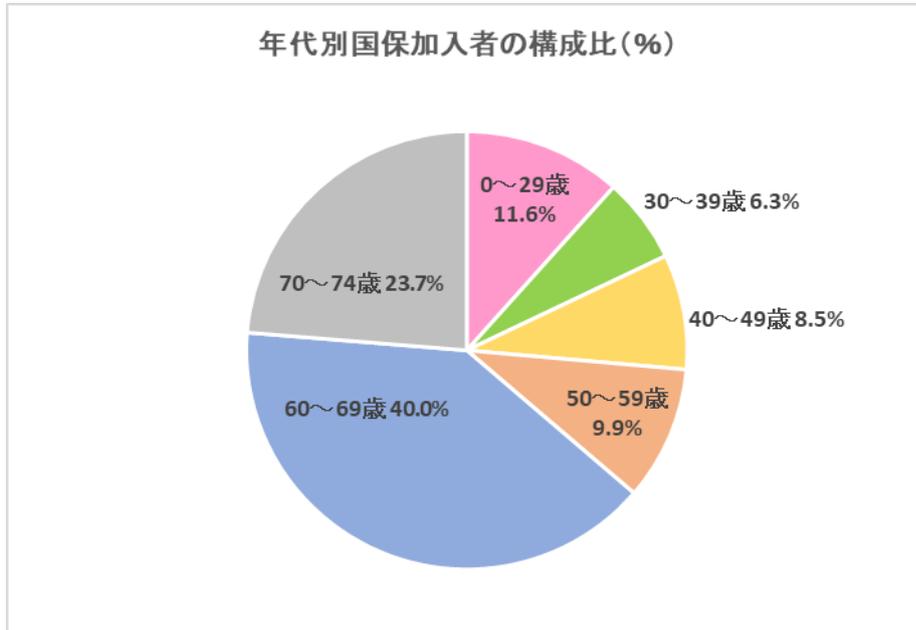


資料：庁内資料 (平成30年10月31日現在)

③ 年代別国保加入者の構成比

国保加入者は60歳以上75歳未満が63.7%となっています。

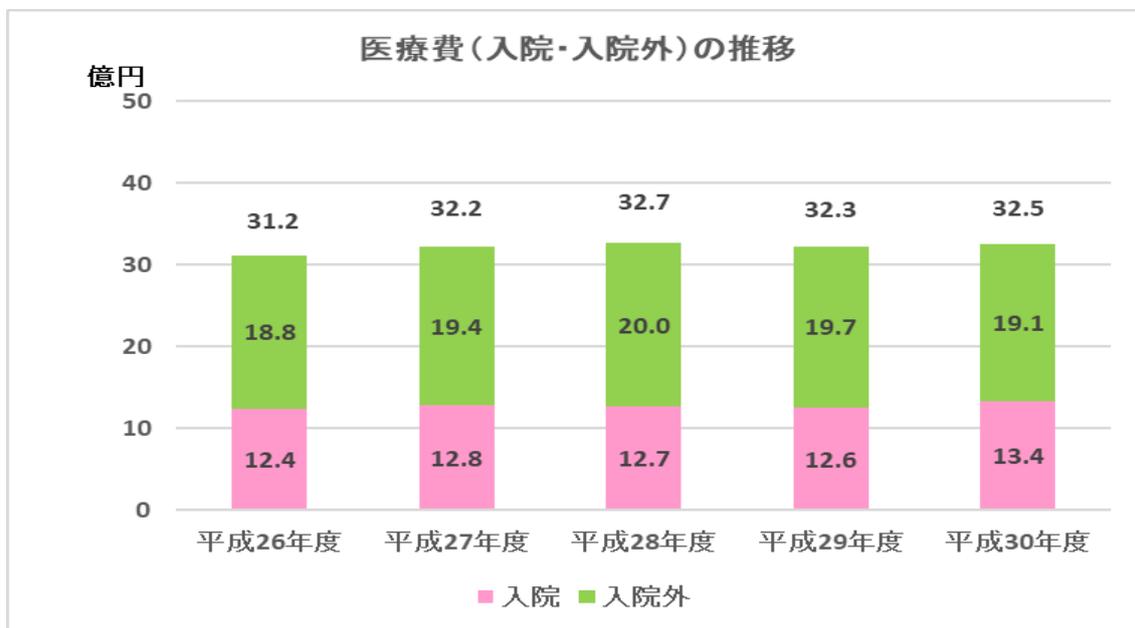
図 年代別国保加入者の構成比（平成30年度）



資料：庁内資料（平成30年10月31日現在）

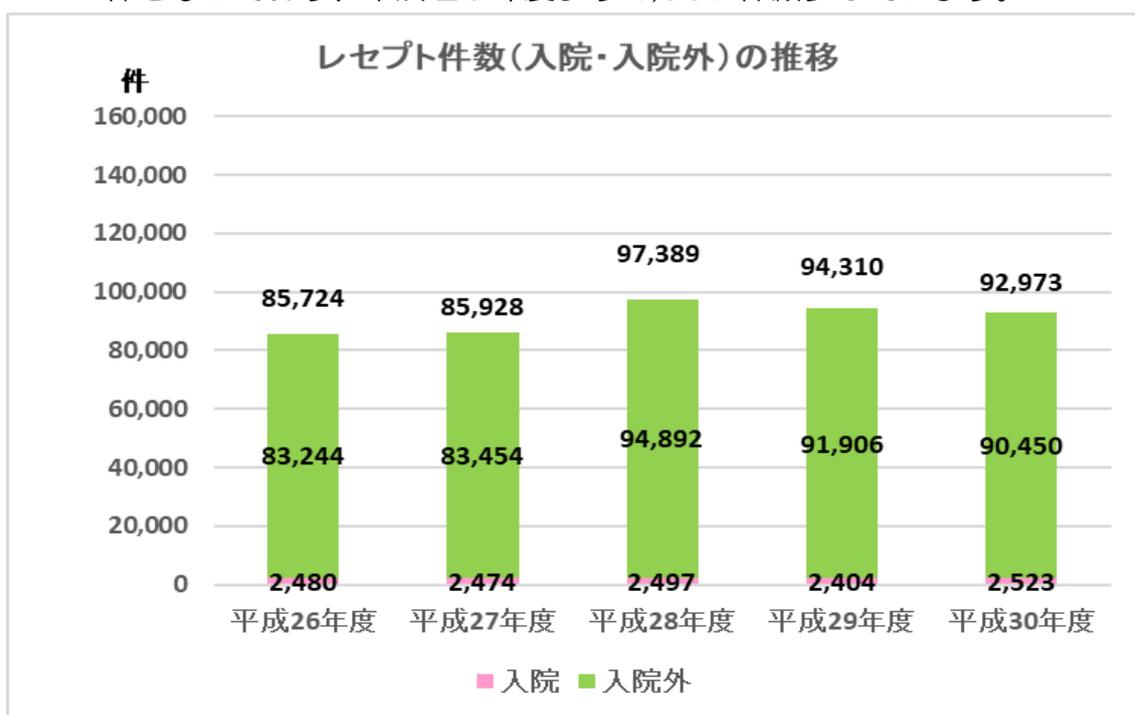
② 医療費（入院・入院外）の状況

医療費（入院・入院外）は増加傾向で推移しており、平成30年度で32.5億円となっています。



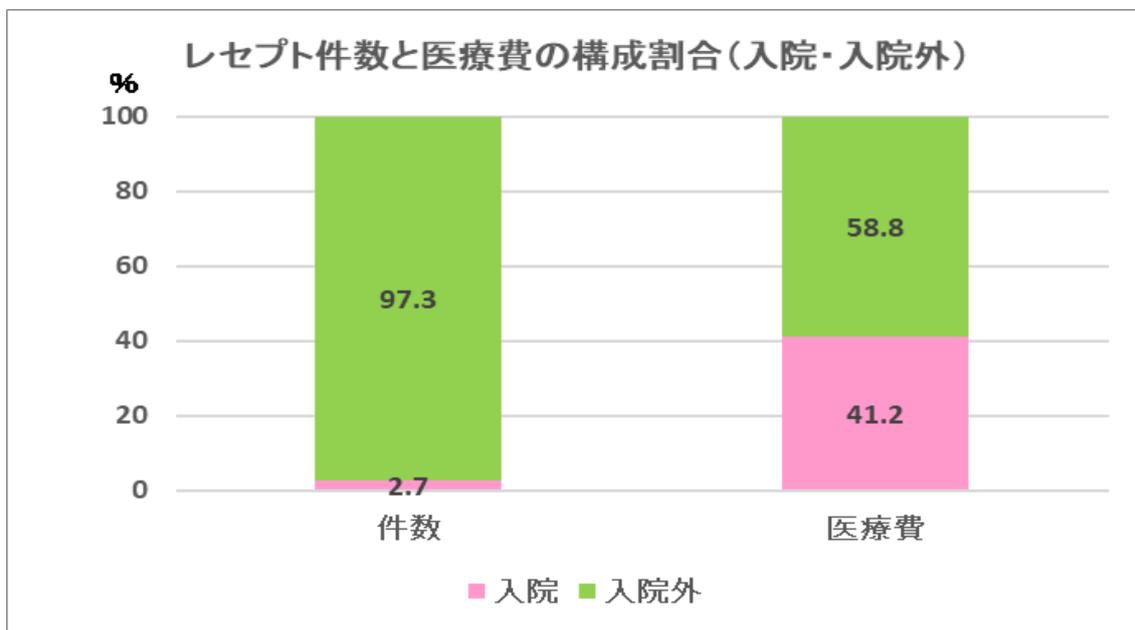
資料：国保データベースシステム

レセプト件数(入院・入院外)の推移をみると、平成30年度で92,973件となっており、平成29年度より1,337件減少しています。



資料：国保データベースシステム

入院・入院外のレセプト件数及び医療費の構成割合は、入院の件数は全体の2.7%ですが、医療費は全体の41.2%を占めています。



資料：国保データベースシステム（平成30年度）

③ 疾病別医療費の状況

入院・入院外の医療費は、糖尿病の医療費が最も多く、レセプト1件当たりの医療費は慢性腎臓病が最も多くなっています。また、レセプト件数は高血圧症が最も多くなっています。

表 医療費上位10疾病（細小分類）【入院・入院外】

疾病名（細小分類）	医療費（円）	レセプト件数（件）	レセプト1件当たり医療費（円）
糖尿病	204,880,970	7,537	27,183
慢性腎臓病	164,875,850	419	393,498
高血圧症	149,514,130	11,354	13,168
統合失調症	140,282,130	1,652	84,917
不整脈	94,044,750	2,000	47,022
脂質異常症	91,403,920	6,508	14,045
関節疾患	78,674,440	2,590	30,376
肺がん	61,011,360	214	285,100
うつ病	54,921,130	1,529	35,920
脳梗塞	48,181,430	414	116,380

資料：国保データベースシステム（平成30年度）

入院の医療費をみると、統合失調症の医療費及びレセプト件数が最も多く、レセプト1件当たり医療費では脳出血が最も多くなっています。

表 医療費上位10疾病（細小分類）【入院】

疾病名（細小分類）	医療費（円）	レセプト件数（件）	レセプト1件当たり医療費（円）
統合失調症	112,468,580	315	357,043
脳梗塞	40,015,270	55	727,550
骨折	36,353,050	57	637,773
不整脈	33,974,270	42	808,911
うつ病	30,724,320	80	384,054
肺炎	30,591,900	55	556,216
肺がん	29,879,900	42	711,426
脳出血	28,705,400	35	820,154
慢性腎不全	25,018,930	46	543,890
狭心症	24,965,680	39	640,146

資料：国保データベースシステム（平成30年度）

入院外の医療費をみると、糖尿病の医療費が最も多く、レセプト1件当たり医療費は、慢性腎不全が最も多くなっています。また、レセプト件数では高血圧症が最も多くなっています。

表 医療費上位10疾病（細小分類）【入院外】

疾病名（細小分類）	医療費（円）	レセプト件数（件）	レセプト1件当たり医療費（円）
糖尿病	192,833,800	7,505	25,694
高血圧症	146,688,450	11,337	12,939
慢性腎不全	139,856,920	373	374,952
脂質異常症	90,820,820	6,504	13,964
関節疾患	61,365,540	2,560	23,971
不整脈	60,070,480	1,958	30,680
気管支喘息	31,897,880	1,208	26,406
肺がん	31,131,460	172	180,997
緑内障	28,828,520	2,018	14,286
統合失調症	27,813,550	1,337	20,803

資料：国保データベースシステム（平成30年度）

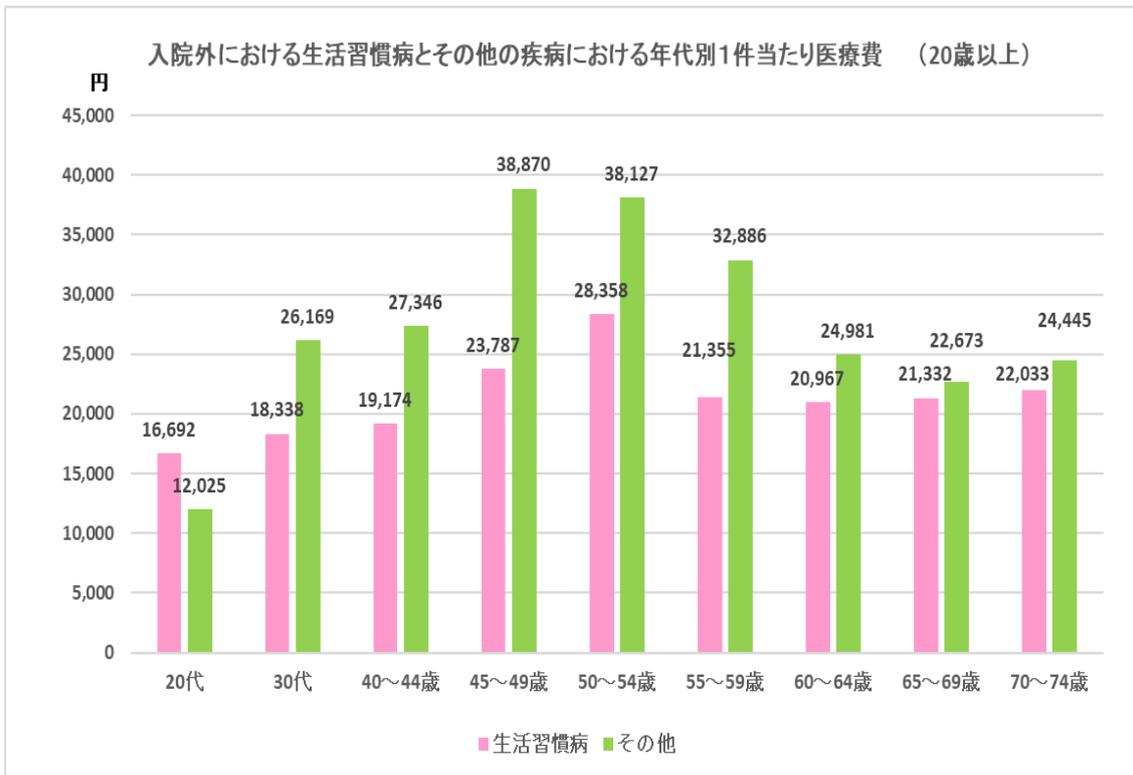
② 入院外における疾病の状況

入院外における疾病の状況をみると、生活習慣病に関連する医療費が約5割を占めています。また、件数は高血圧症が最も多く、件数の14.7%を占めています。医療費では、1件当たりと共にかんが最も多くなっています。

表 入院外における疾病別件数・医療費（20歳以上）

疾病名	件数		医療費		1件あたりの医療費（円）	
	（件）	構成比（%）	（円）	構成比（%）		
生活習慣病	がん	2,229	2.9	199,692,710	11.4	89,588
	糖尿病	7,665	10.0	199,585,340	11.4	26,039
	高血圧症	11,337	14.7	146,688,450	8.4	12,939
	筋・骨格	7,060	9.2	130,123,830	7.4	18,431
	脂質異常症	6,504	8.4	90,820,820	5.2	13,964
	精神	3,437	4.5	62,462,200	3.6	18,173
	狭心症	824	1.1	16,429,450	0.9	19,939
	脳梗塞	359	0.5	8,166,160	0.5	22,747
	脂肪肝	161	0.2	3,031,350	0.2	18,828
	動脈硬化症	80	0.1	1,627,060	0.1	20,338
	生活習慣病計	39,656	51.6	858,627,370	49.1	21,652
	その他の疾病（上記以外の疾病）	37,245	48.4	889,168,640	50.9	23,874

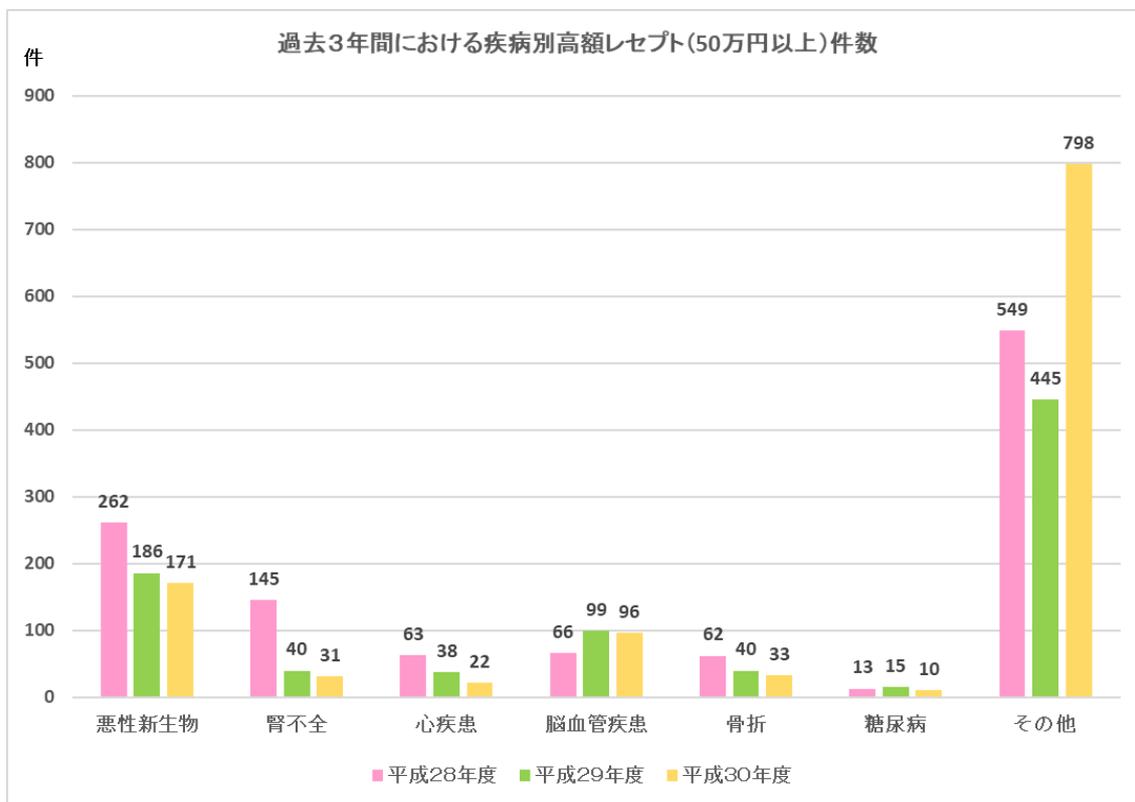
資料：国保データベースシステム（平成30年度）



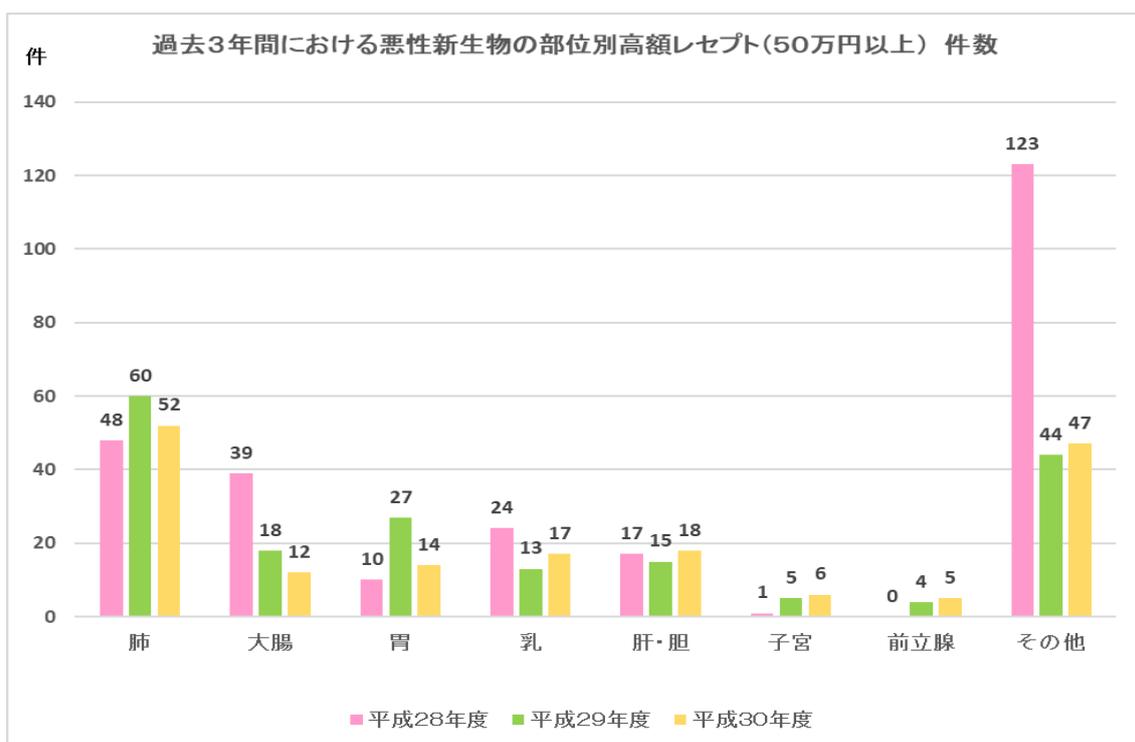
資料：国保データベースシステム（平成30年度）

③ 高額レセプトの状況

平成28年度から30年度の3年間の高額レセプトの件数をみると、悪性新生物が最も多く、中でも肺がん、大腸がんの件数が多い状況です。次いで脳血管疾患が多くなっています。



資料：国保データベースシステム



資料：国保データベースシステム

(3) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の状況 ●●●●●●●●

後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは、特許が切れた後に同一成分（同等効能・効果）を持つ安価な医薬品のことです。

本市のジェネリック医薬品の利用割合は、全国、宮城県より低くなっています。

表 ジェネリック医薬品の利用割合（数量ベース）

単位：％

	平成 29 年 3 月	平成 30 年 3 月
白石市	66.2	74.0
宮城県	76.1	80.7
全国	73.0	77.7

資料：調剤医療費（電算処理分）の動向

(4) 生活習慣病治療者の状況

① 生活習慣病重症化疾患と基礎疾患の重複状況

生活習慣病重症化疾患と基礎疾患の重複状況をみると、人工透析治療者では、高血圧症との重複が92.5%と最も高く、次いで糖尿病が65.0%、脂質異常症が40.0%となっています。虚血性心疾患治療者、脳血管疾患治療者も同様に、高血圧症との重複が高くなっています。

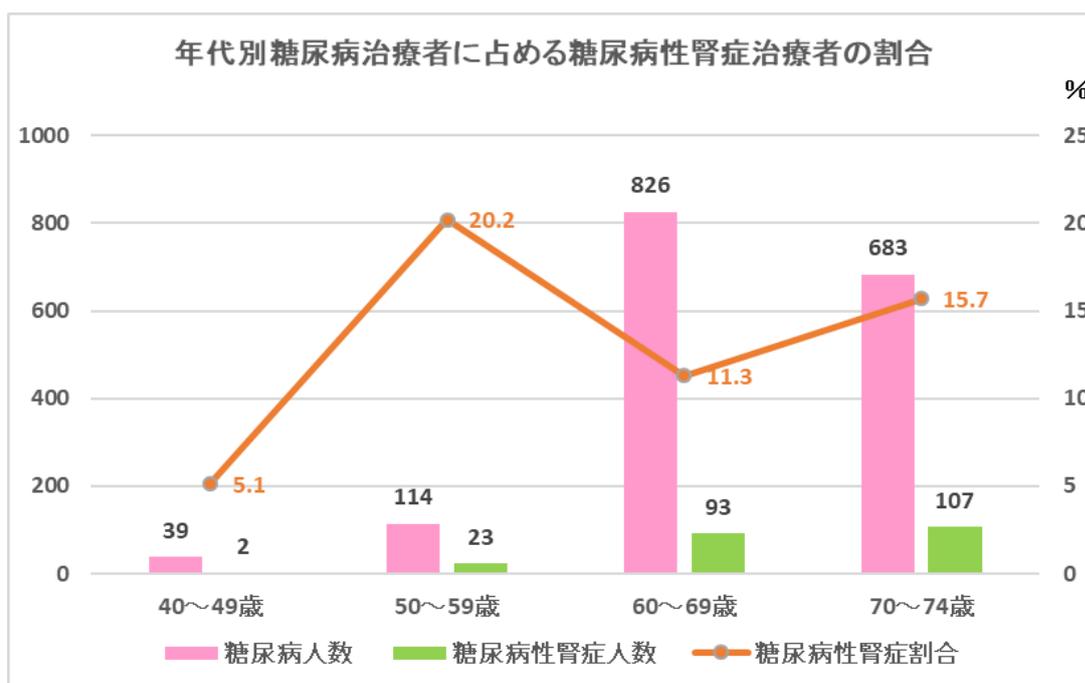
表 生活習慣病重症化疾患と基礎疾患の重複状況

疾病名	人数	糖尿病	高血圧症	高尿酸血症	脂質異常症
人工透析	40人	65.0%	92.5%	32.5%	40.0%
虚血性心疾患	495人	62.6%	80.0%	19.0%	71.1%
脳血管疾患	379人	53.3%	83.6%	18.5%	70.2%

資料：国保データベースシステム（平成30年5月診療分）

② 糖尿病治療者の重症化の状況

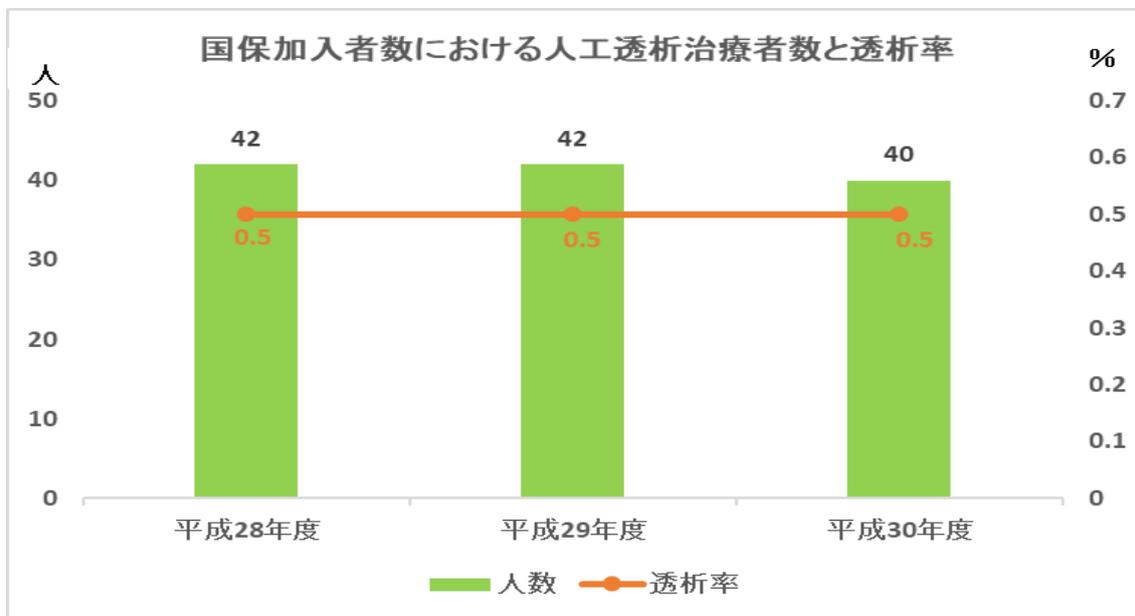
年代別で糖尿病治療者に占める糖尿病性腎症治療者の割合の状況を見ると、50歳代が20.2%と最も高くなっています。



資料：国保データベースシステム（平成30年5月診療分）

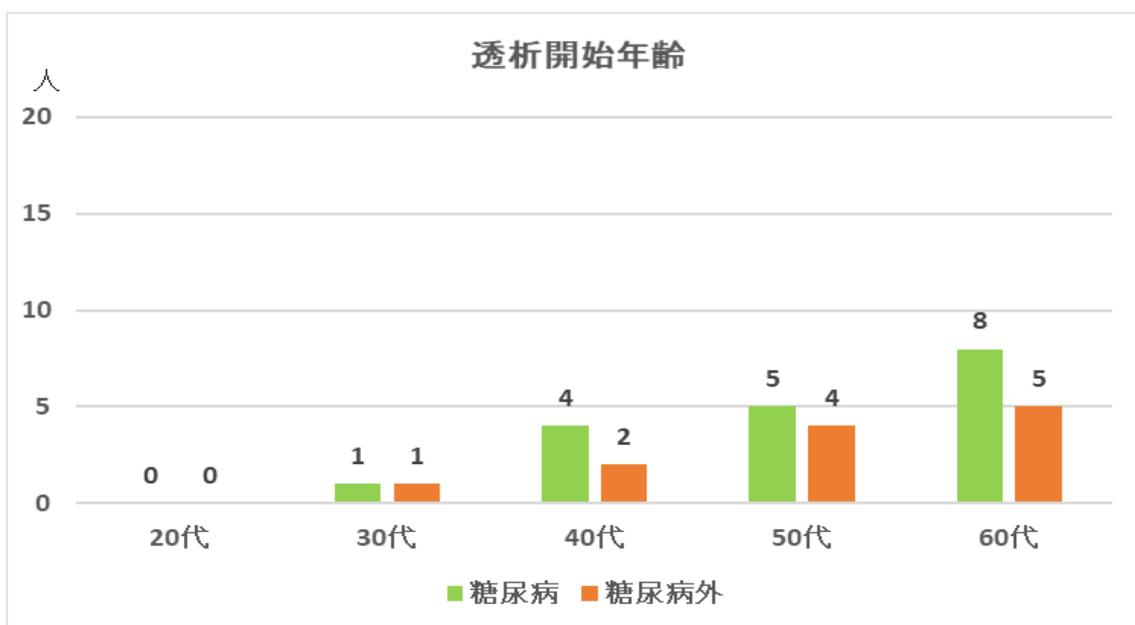
③ 人工透析の状況

人工透析治療者数と透析率は、ほぼ横ばいで推移しており、平成30年度で40人となっています。



資料：国保データベースシステム

平成30年度の60代までの透析患者の状況をみると、糖尿病が主病で人工透析になった人は18人で、糖尿病外の主病で人工透析になった人は12人です。透析開始はどちらも早い人では、30代から始まっています。透析開始時の平均年齢は、主病が糖尿病で55.8歳、主病が糖尿病外で52.1歳となっています。



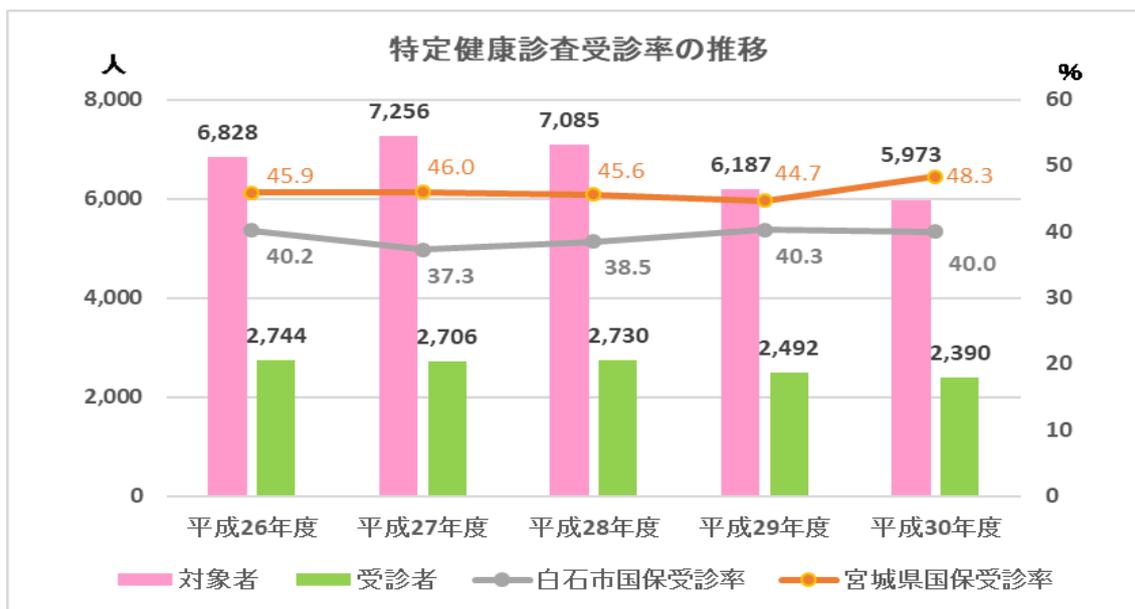
資料：国保データベースシステム（平成30年度）

4 特定健診データの分析

(1) 特定健診の受診状況

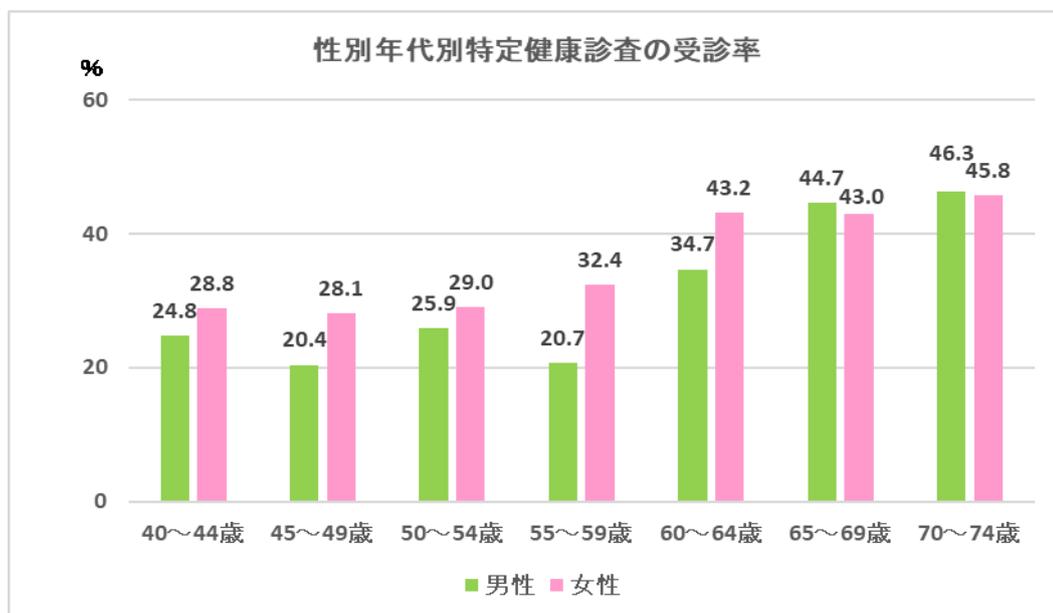
① 特定健康診査受診率の推移

特定健康診査受診率の推移をみると、40%前後で推移しており、平成30年度で40.0%となっています。宮城県国保受診率と比較すると、毎年度下回っています。



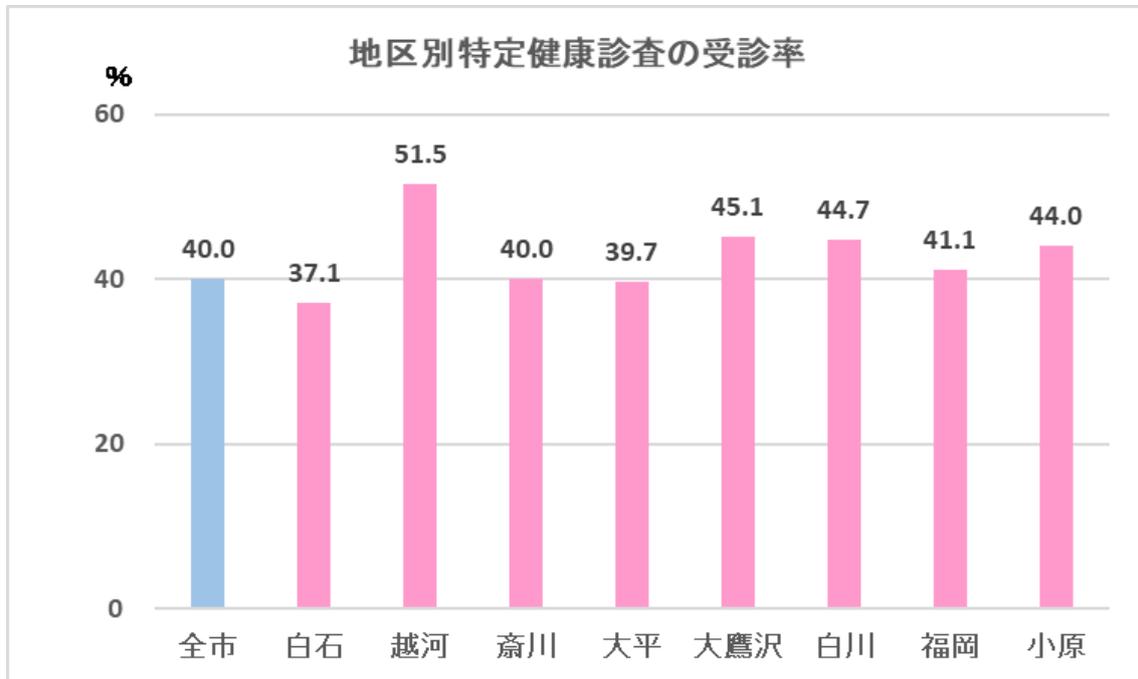
資料：法定報告

平成30年度における性別年代別特定健康診査の受診率をみると、男女ともに、年齢が低いほど受診率が低い傾向にあり、特に59歳以下の男性の受診率が低くなっています。



資料：法定報告（平成30年度）

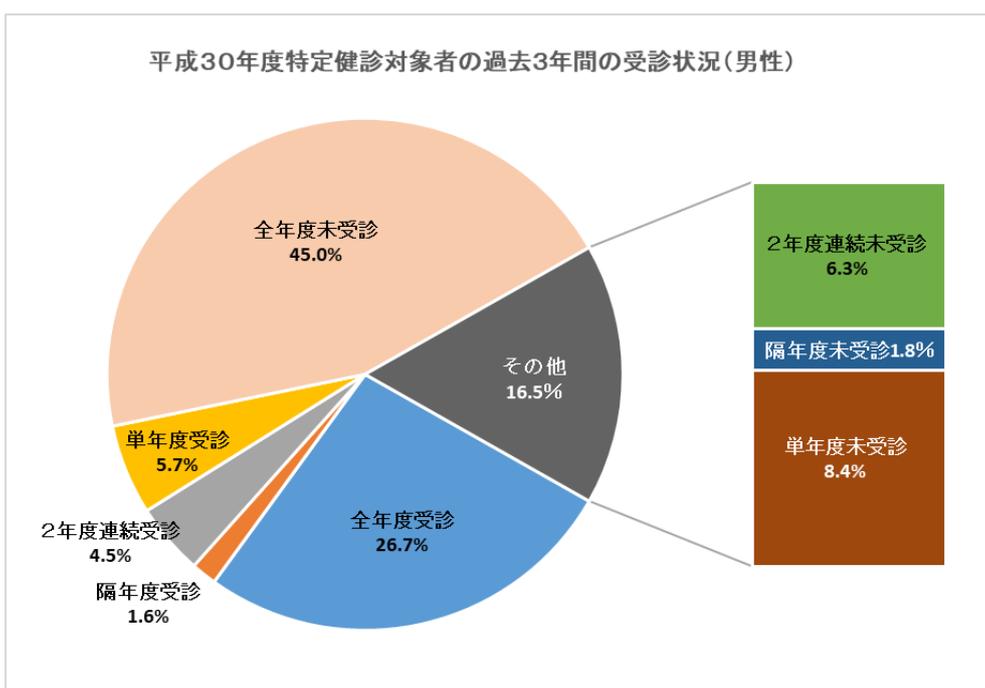
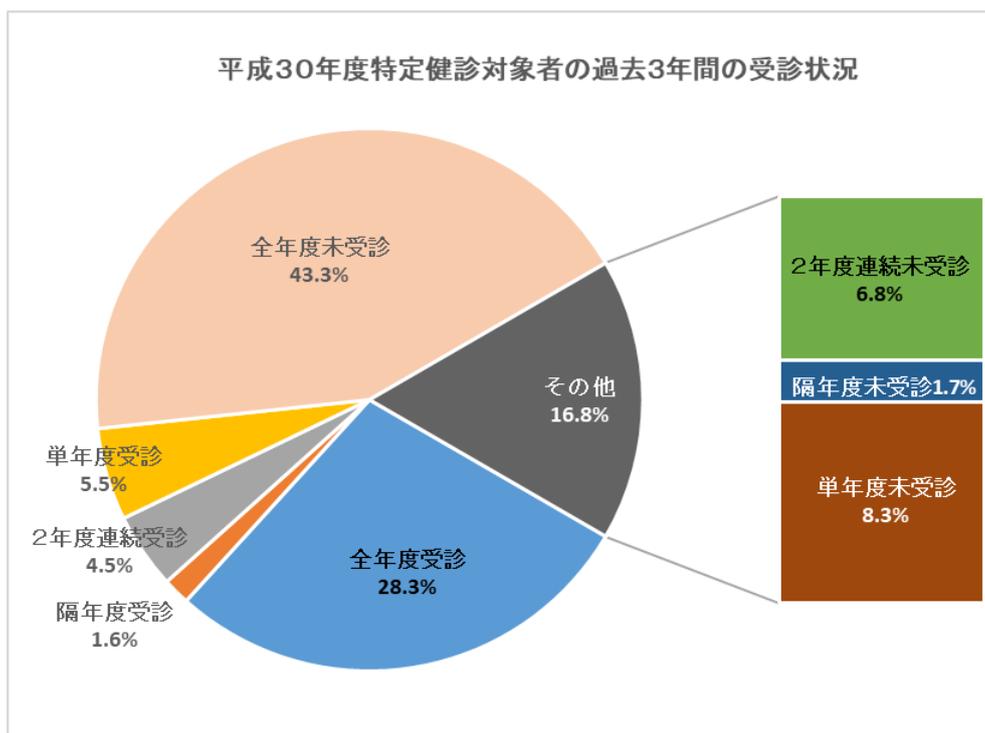
平成30年度における地区別特定健康診査の受診率は、越河、大鷹沢、白川地区が他の地区に比べ受診率が高く、一方で白石、大平地区は低くなっています。



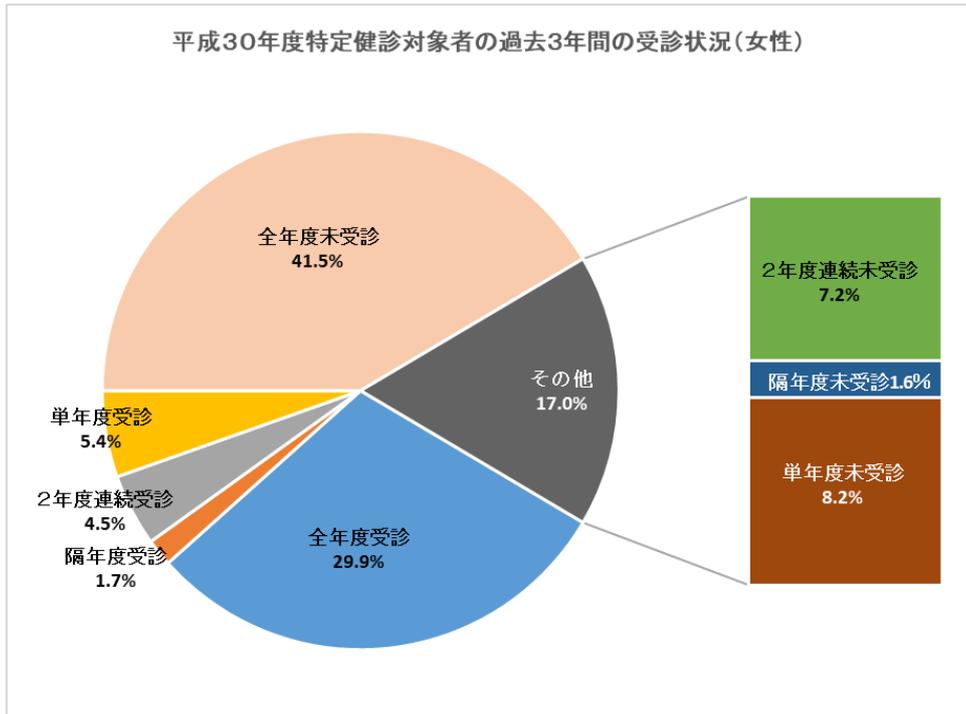
資料：国保データベースシステム（平成30年度）

② 特定健康診査受診状況調査

調査対象者	平成30年度の特定健康診査対象者かつ平成28年度から平成30年度の3年間継続の対象者
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最多は「1度も受診していない人」で43.3% ・ 次に多いのは、「毎年度受診している人」で28.3%
性別での比較	女性と比べ、男性で受診者の割合が低く、未受診者の割合が高くなっています。



平成30年度特定健診対象者の過去3年間の受診状況(女性)



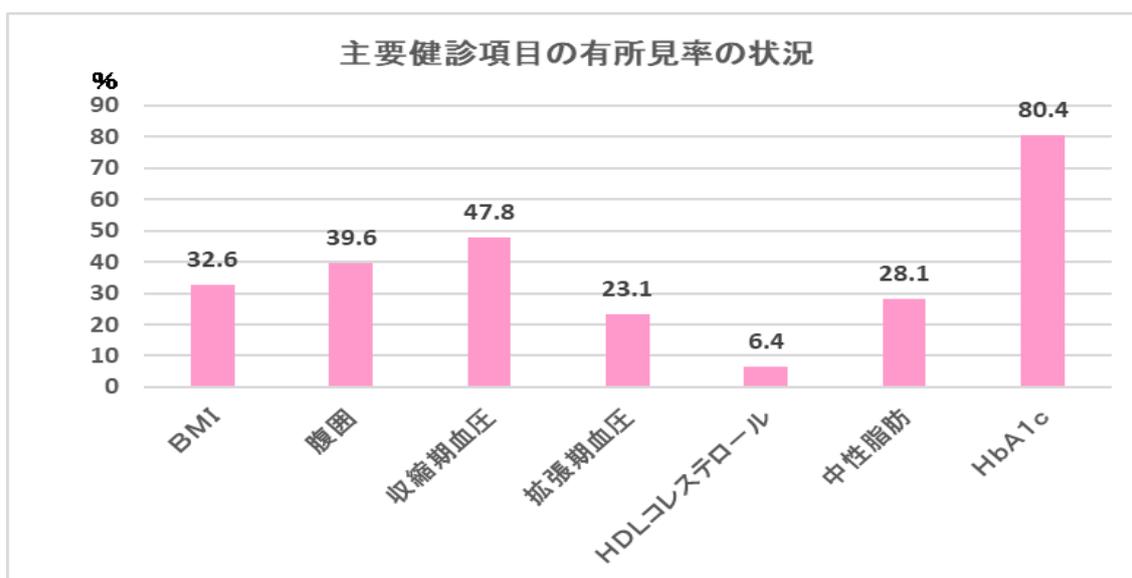
資料：白石市特定健診データ

(2) 特定健診結果の状況

特定健康診査における有所見者の割合をみると、HbA1cが最も高く、次いで、収縮期血圧、腹囲となっています。

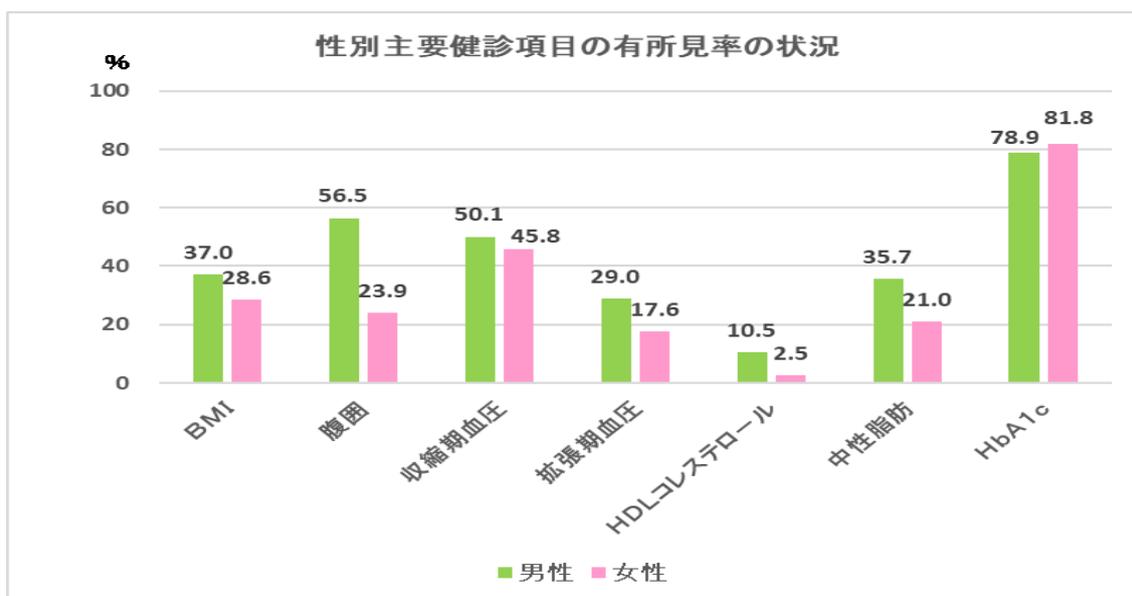
表 有所見の基準値

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧	HDLコレステロール	中性脂肪	HbA1c
基準値	25以上	男性85cm以上 女性90cm以上	130mmHg以上	85mmHg以上	40mg/dl未満	150mg/dl以上	5.6%以上



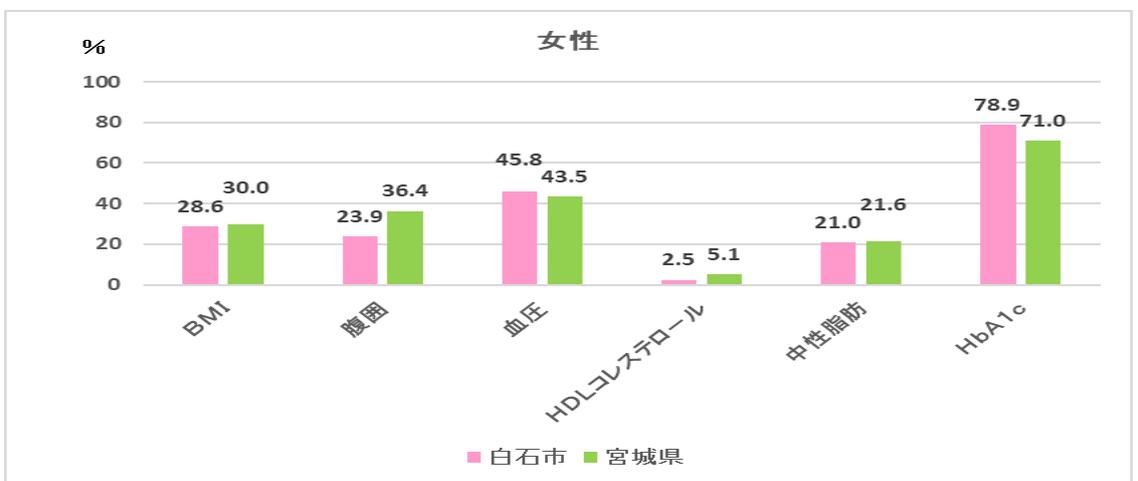
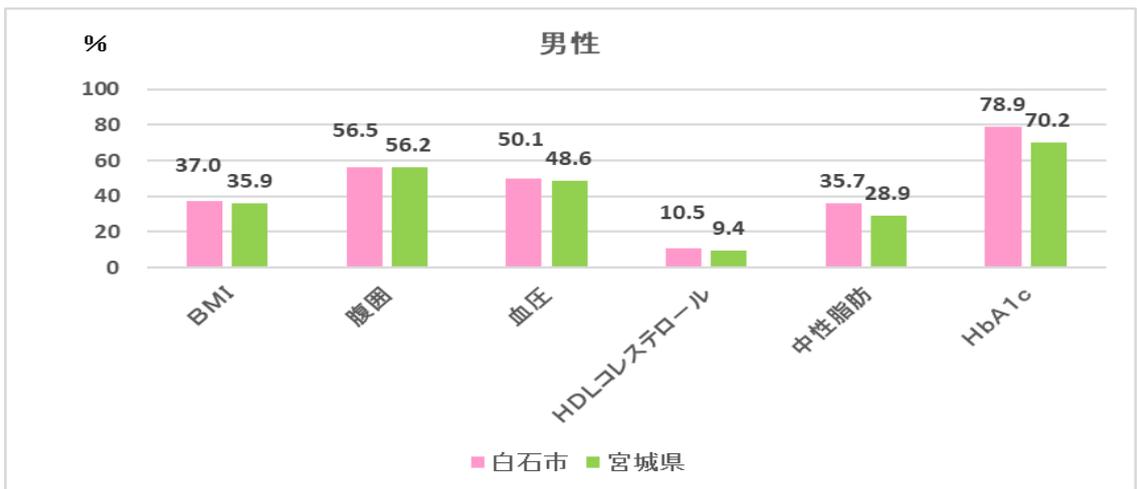
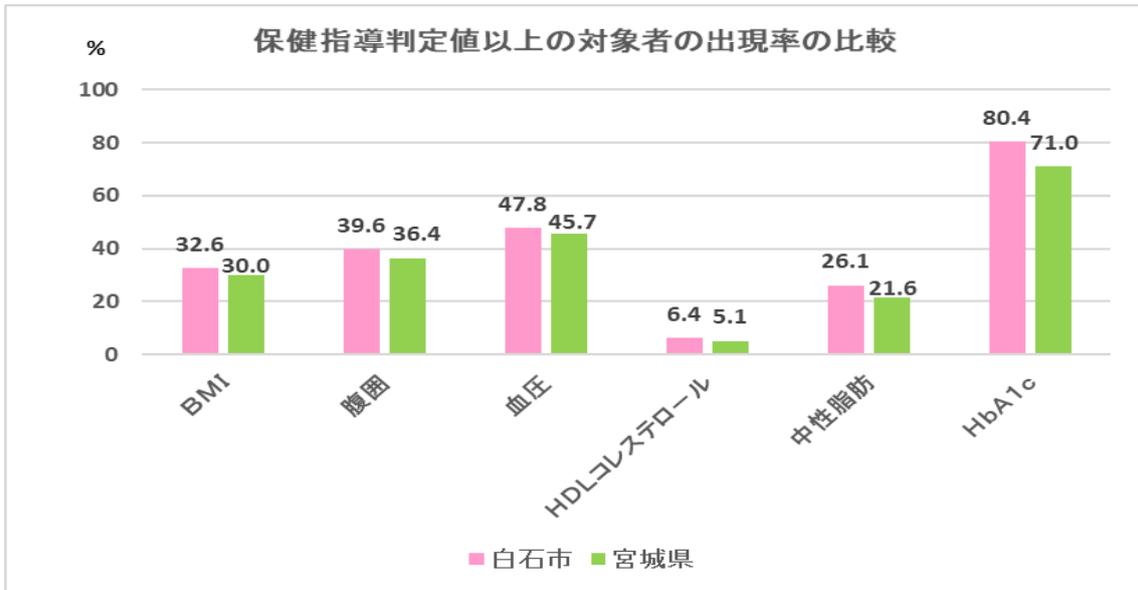
資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

性別でみると、女性に比べ男性は、HbA1cを除く項目において高く、特に腹囲においては、30ポイント以上高くなっています。



資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

全体の保健指導判定値以上の対象者の出現率をみると全ての項目について県平均を上回っています。

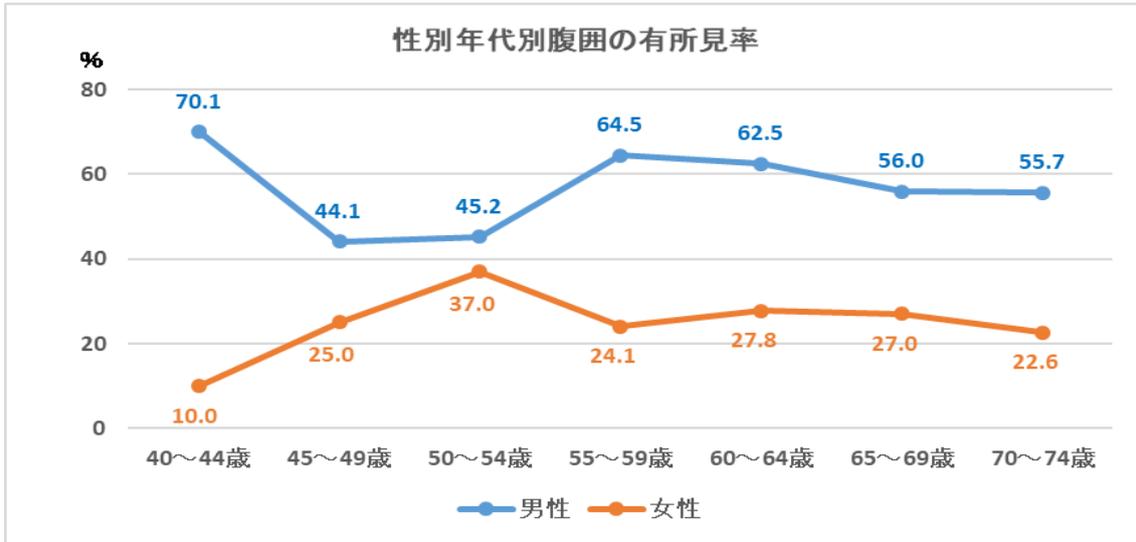


資料：国保データベースシステム（平成30年度）

① 腹囲の状況

性別年代別に腹囲の有所見率をみると、男性は40～44歳で最も高く70.1%、女性は50～54歳で最も高く37.0%となっています。また、すべての年代で、女性に比べて男性の有所見率が高くなっています。

○基準値：男性85cm以上、女性90cm以上

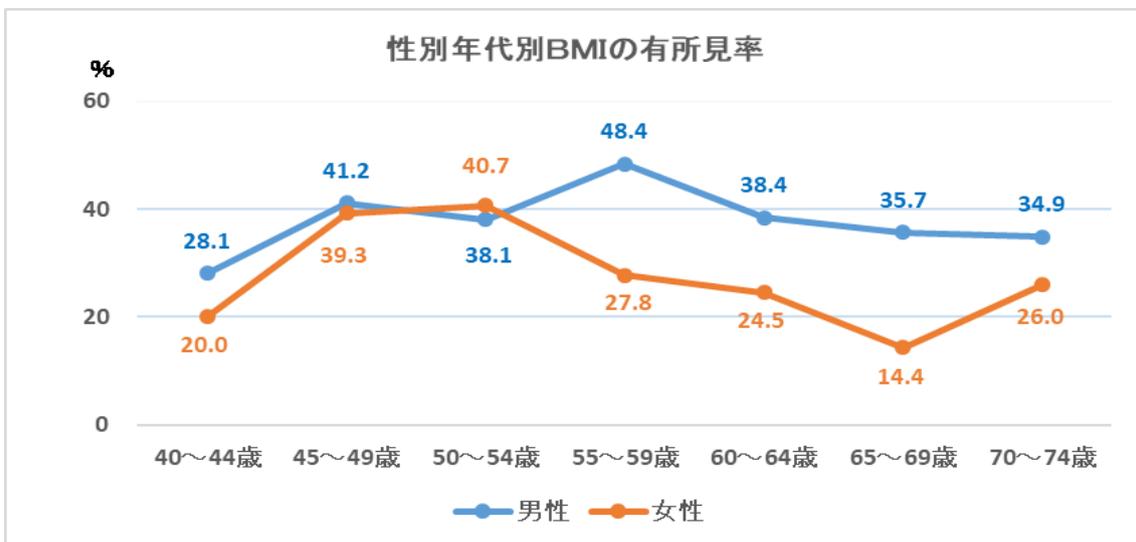


資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

② BMIの状況

性別年代別にBMIの有所見率をみると、男性では、55～59歳で48.4%と最も高くなっています。女性では、50～54歳で40.7%と最も高くなっています。

○基準値：25以上



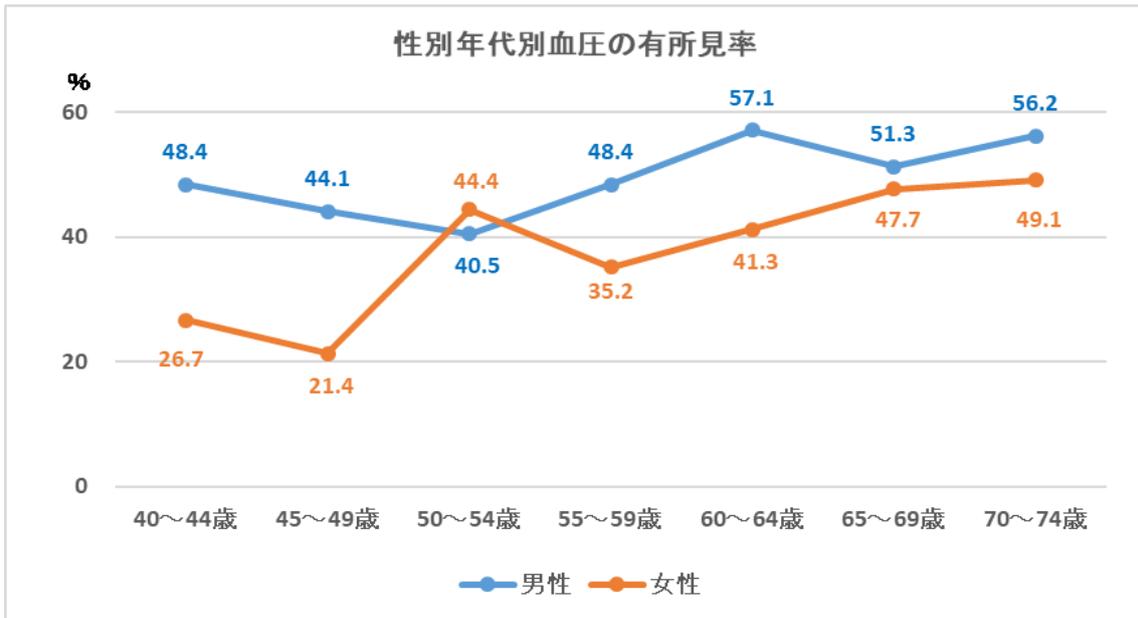
資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

③ 血圧の状況

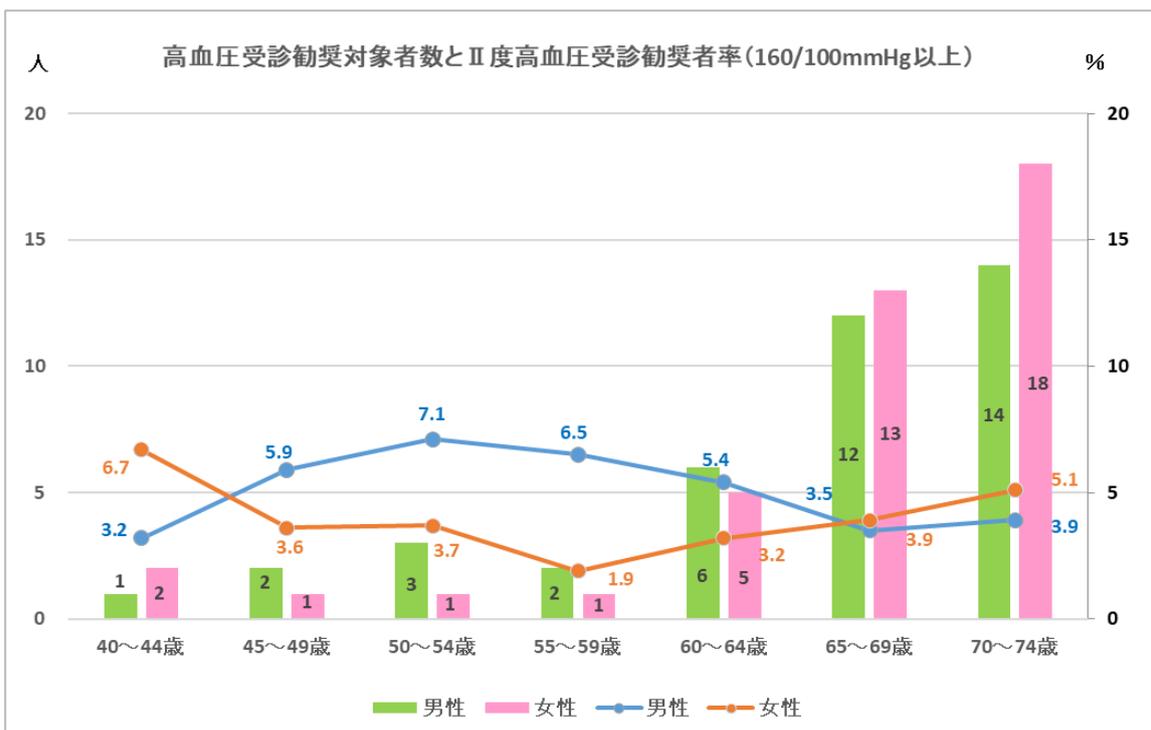
性別年代別に血圧の有所見率をみると、男性では、60～64歳で57.1%と最も高くなっています。女性では、50～54歳で44.4%になっています。

Ⅱ度高血圧（160/100mmHg以上）の受診勧奨者は81人です。

○基準値：収縮期血圧130mmHg以上、又は拡張期血圧85mmHg以上



資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

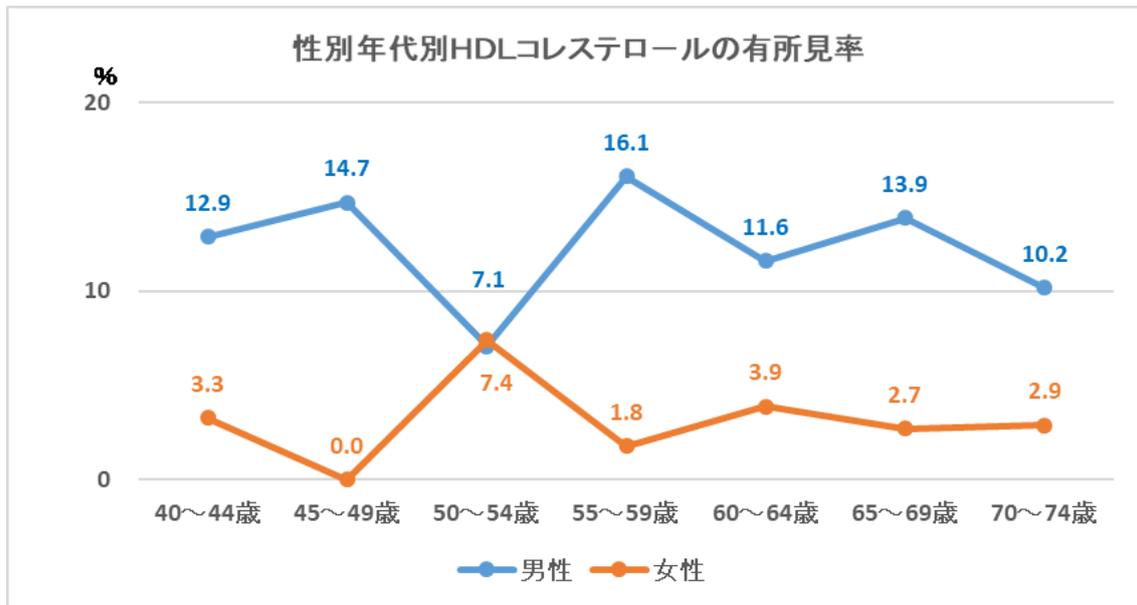


資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

④ HDLコレステロールの状況

性別年代別にHDLコレステロールの有所見率をみると、男性では、55～59歳で16.1%と最も高く、女性では、50～54歳で最も高く、7.4%となっています。

○基準値：40mg/dl未満



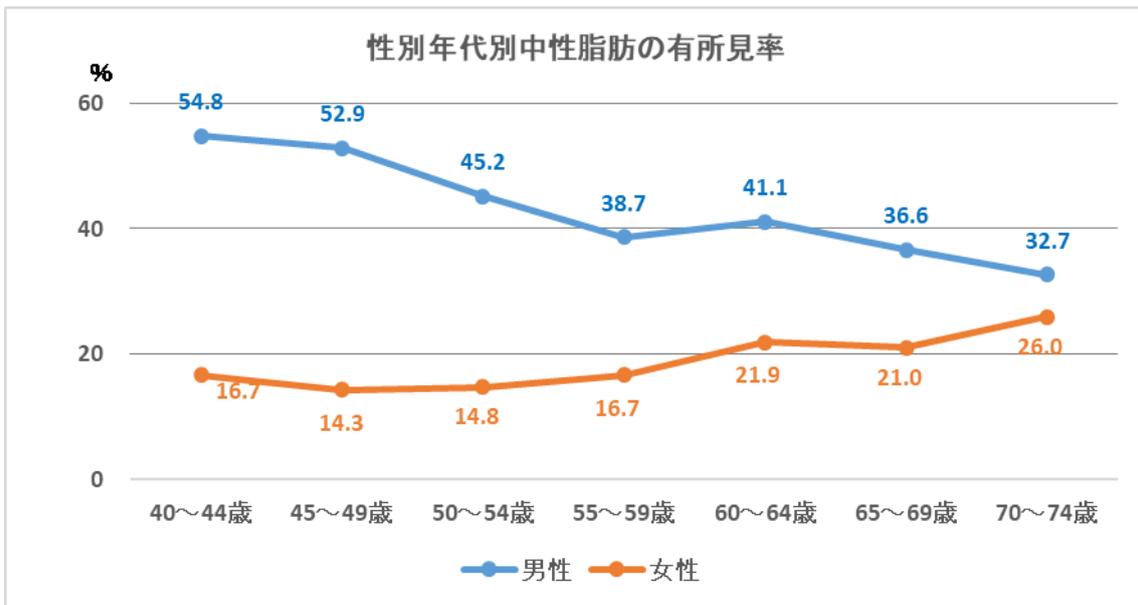
資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

⑤ 中性脂肪の状況

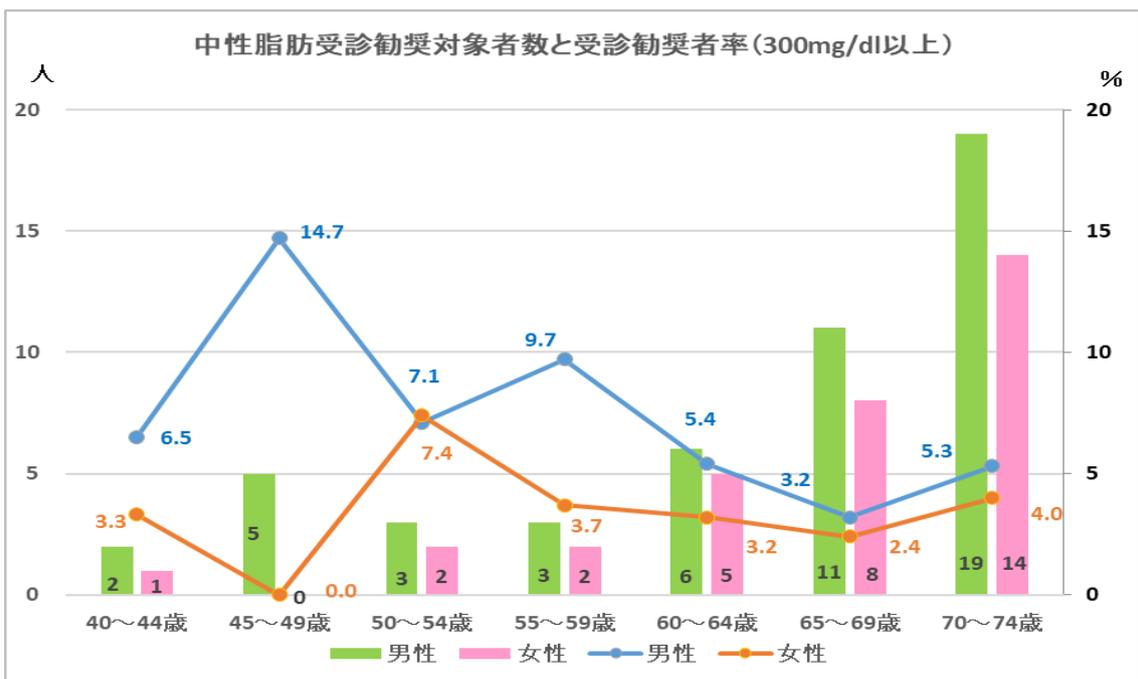
性別年代別に中性脂肪の有所見率をみると、男性は40～44歳で最も高く54.8%、女性では70～74歳で最も高く26.0%となっています。また、すべての年代で、女性に比べて男性の有所見率が高くなっています。

中性脂肪が300mg/dl以上の受診勧奨者は81人です。

○基準値：150mg/dl以上

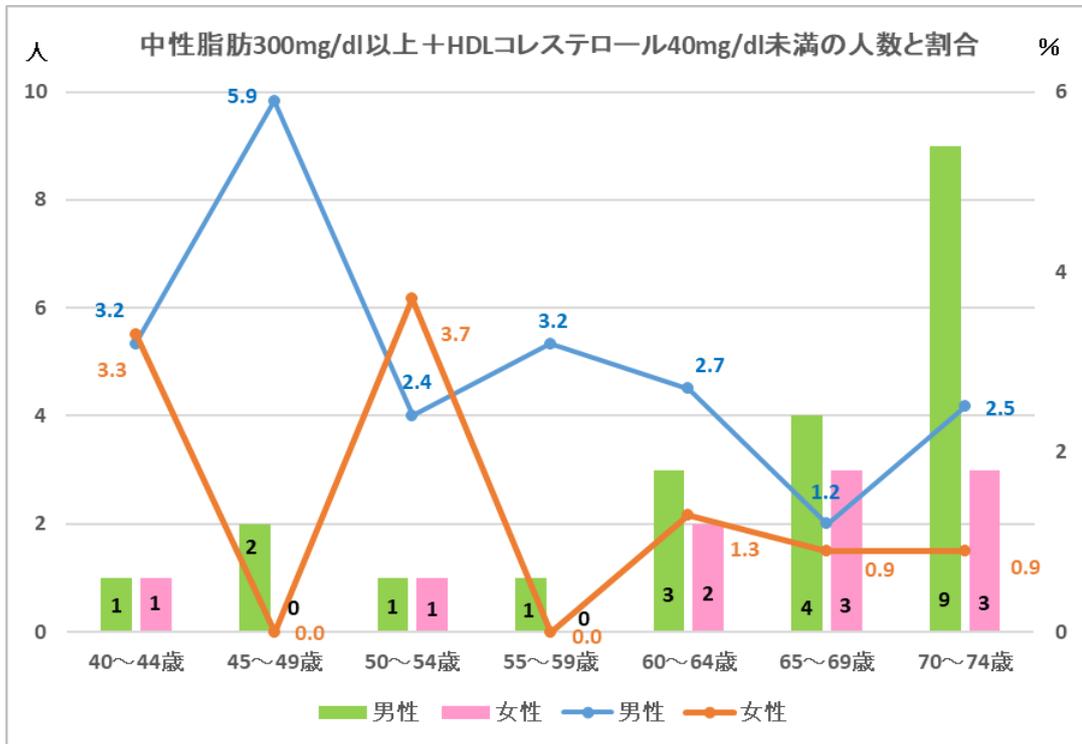


資料：白石市特定健診データ（平成30年度）



資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

中性脂肪（300mg/dl以上）とHDLコレステロール（40mg/dl未満）の受診勧奨者のうち、中性脂肪とHDLコレステロールの両方の有所見者は31人です。



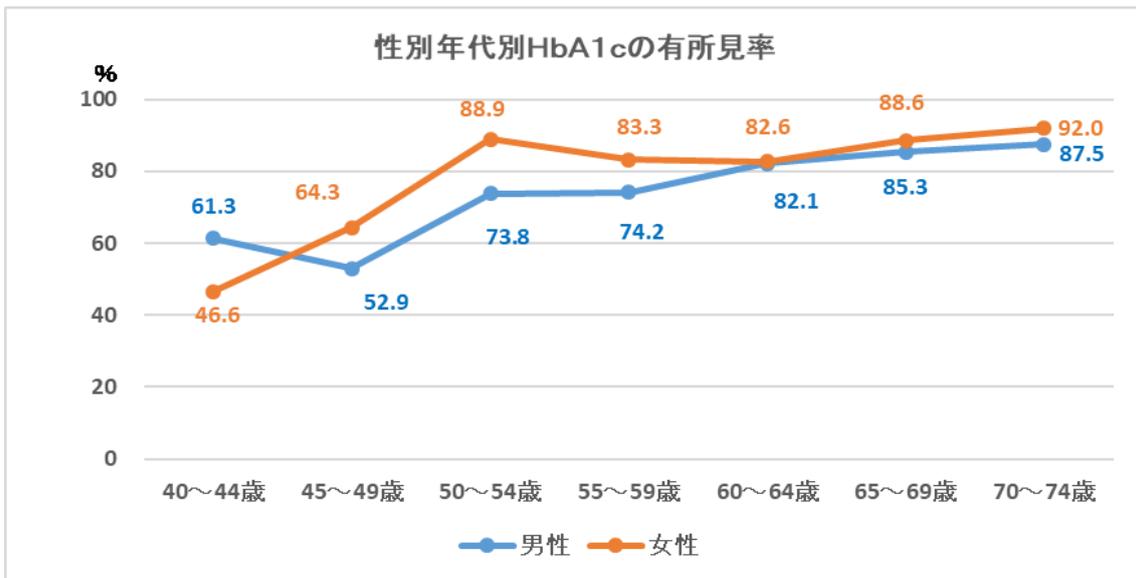
資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

⑥ 血糖（HbA1c）の状況

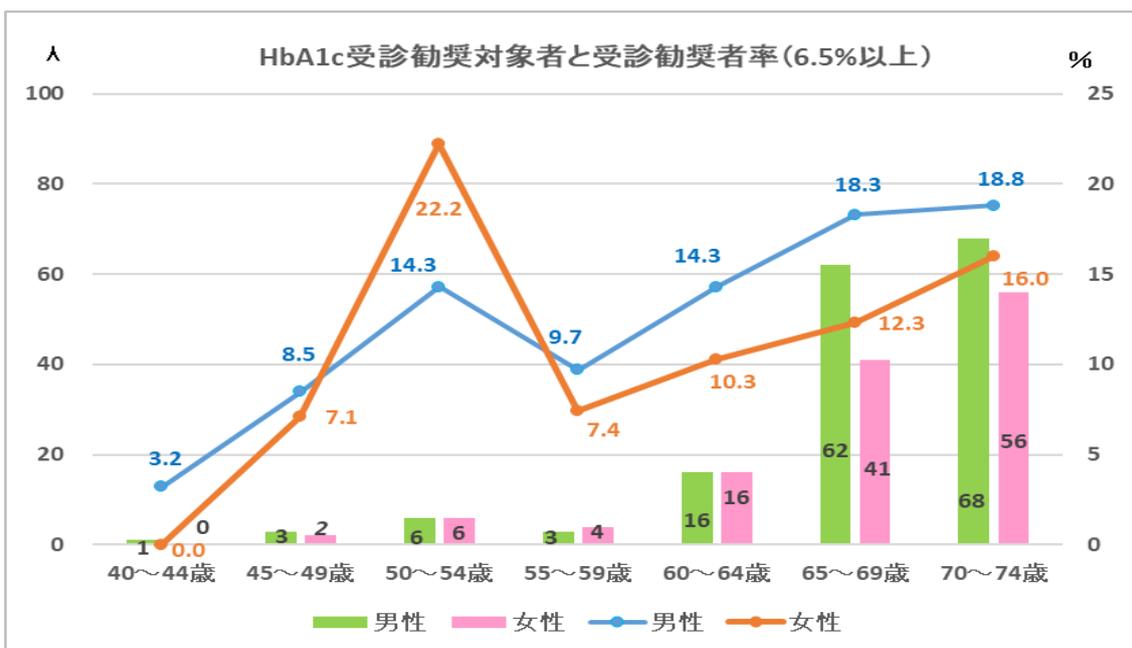
性別年代別にHbA1cの有所見率をみると、男性は70～74歳で87.5%と最も高く、女性は70～74歳で92.0%と最も高くなっています。男女ともに50歳代で増加がみられ、男性の7割以上、女性の8割以上が有所見となっています。

6.5%以上の受診勧奨者は284人です。

○基準値：HbA1c（NGSP値）5.6%以上



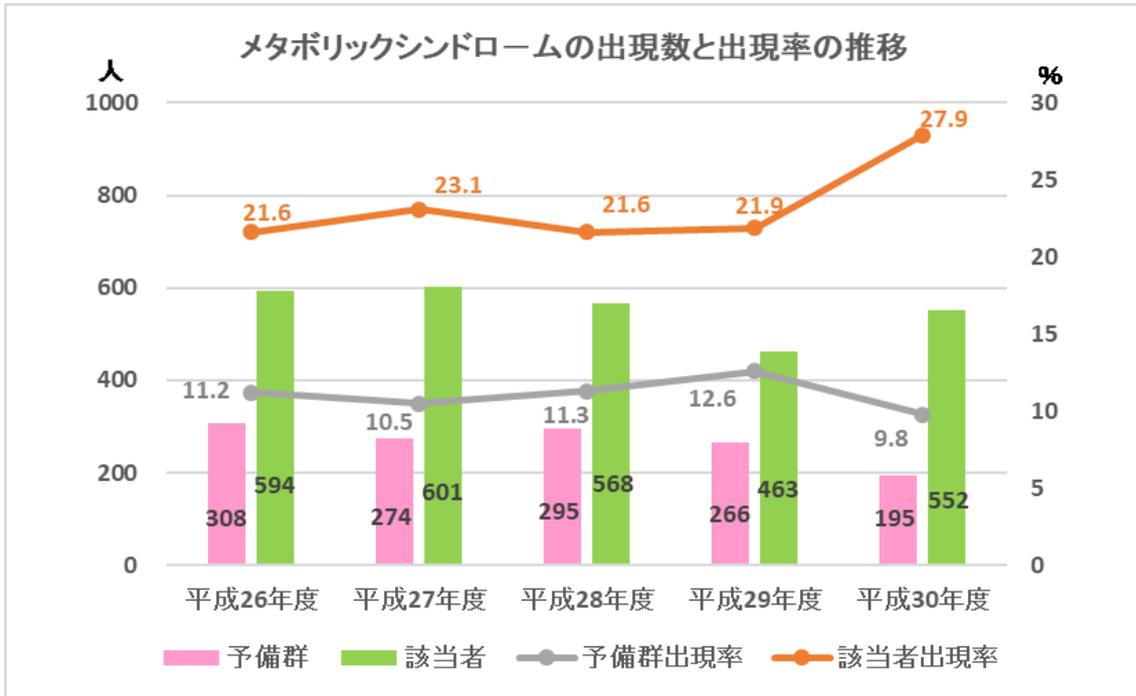
資料：白石市特定健診データ（平成30年度）



資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

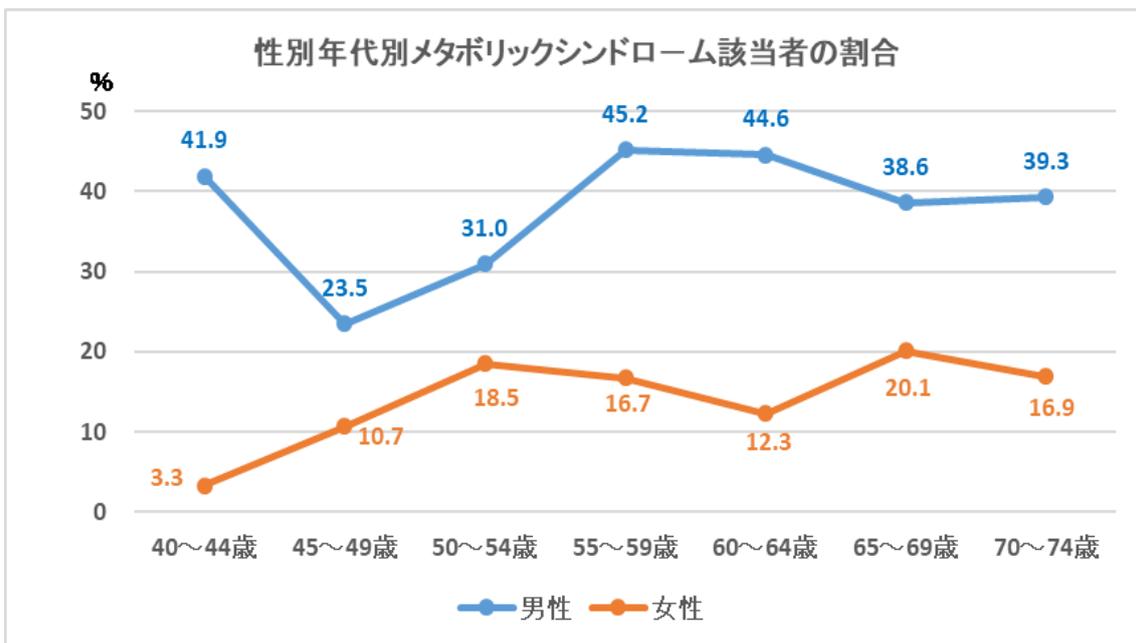
⑦ メタボリックシンドロームの状況

メタボリックシンドロームの推移をみると、メタボリックシンドローム該当者は増加、メタボリックシンドローム予備群は減少しています。



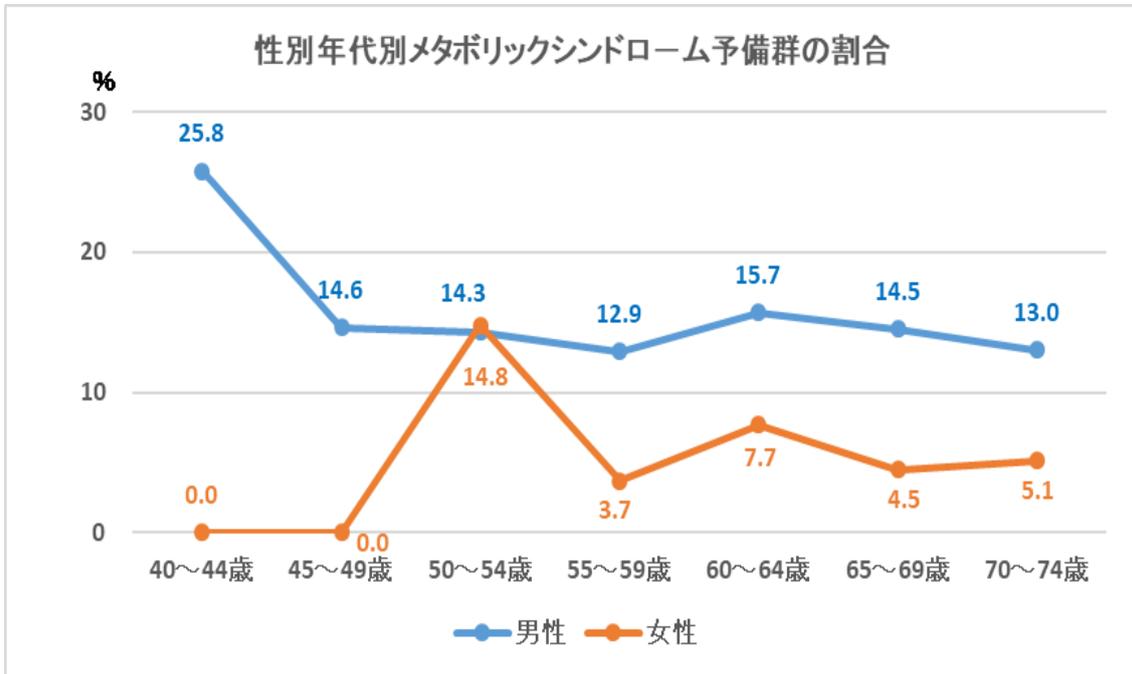
資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

性別年代別にメタボリックシンドローム該当者の割合をみると、男性では、55～59歳で45.2%と最も高くなっています。女性では、65～69歳で20.1%と最も高くなっています。また、すべての年代で、女性に比べて男性の出現率が高くなっています。



資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

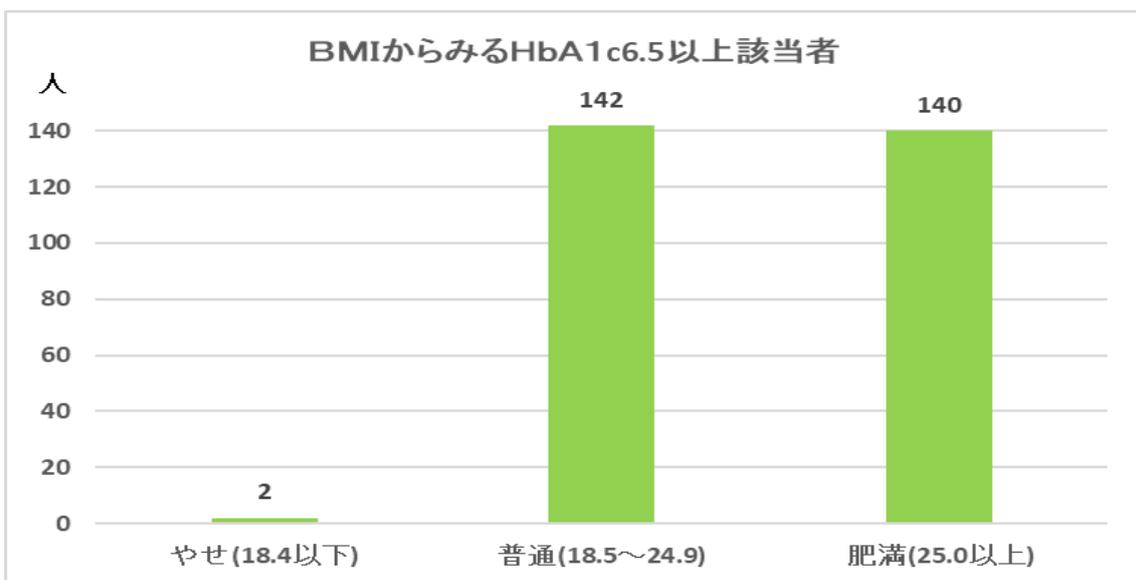
性別年代別にメタボリックシンドローム予備群の割合をみると、男性では、40～44歳で25.8%と最も高くなっています。女性では、50～54歳で14.8%と最も高くなっています。



資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

⑧ 肥満と糖尿病の関係

BMI別にみた糖尿病受診勧奨該当者（HbA1c6.5%以上）の人数は、普通と肥満が多くなっています。



資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

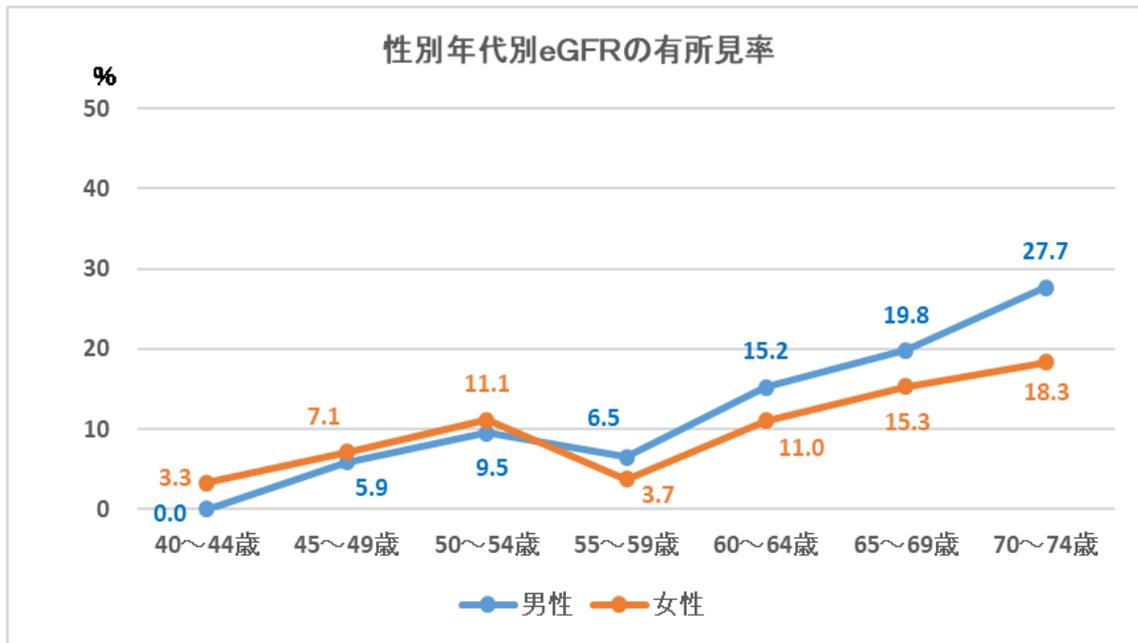
⑨ 腎機能（eGFR）の状況

性別年代別にeGFRの有所見率をみると、男女とも70～74歳で最も有所見率が高く、男性では27.7%、女性では18.3%となっています。

○基準値：eGFR*60未満

※ eGFR=194×血清クレアチニン値^{-1.094}×年齢^{-0.287}（男性）

eGFR=194×血清クレアチニン値^{-1.094}×年齢^{-0.287}×0.739（女性）



資料：白石市特定健診データ（平成30年度）

⑩ 特定健康診査受診者における医療受診状況

特定健康診査受診者の受診の有無における医療受診状況をみると、特定健康診査受診者に比べ、未受診者では医療費が高くなっています。

表 特定健康診査受診の有無別医療費の状況

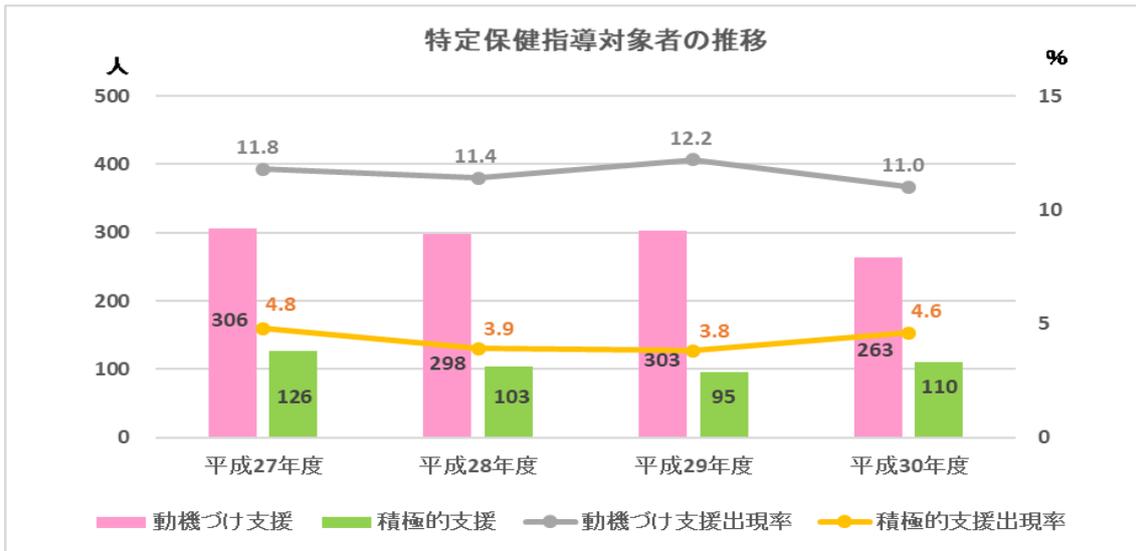
年度	健診の受診状況	1人当たり医療費（円）
平成27年度	受診者	2,206
	未受診者	14,926
平成28年度	受診者	2,304
	未受診者	14,813
平成29年度	受診者	2,369
	未受診者	15,230

資料：国保データベースシステム

5 特定保健指導データの分析

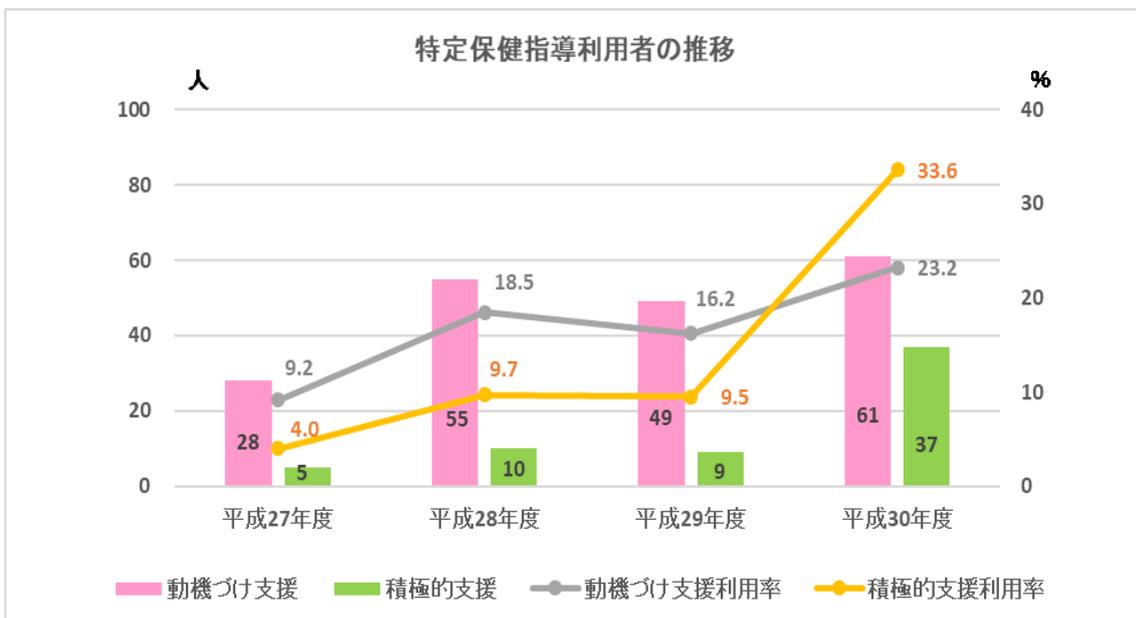
(1) 特定保健指導対象者の状況

特定保健指導対象者の出現率の推移をみると、動機づけ支援、積極的支援ともに横ばい傾向となっており、平成30年度で、動機づけ支援対象者の出現率は11.0%、積極的支援対象者の出現率は4.6%となっています。



(2) 特定保健指導の利用状況

特定保健指導の利用率の推移をみると、動機づけ支援対象者と積極的支援対象者の利用率は増加しており、平成30年度で動機づけ支援で23.2%、積極的支援で33.6%となっています。



第3章 保健事業

1 保健事業の実施状況

(1) 現在実施している主な保健事業

<国民健康保険の保健事業>

事業名	内容	対象	実施時期等
特定健康診査	集団健診はホワイトキューブで実施。個別健診は白石市医師会委託にて実施。 【血圧、身体測定、腹囲、尿検査、中性脂肪、LDL・HDL コレステロール、肝機能検査、HbA1c、クレアチニン（※）、尿酸（※）、診察（※）市独自項目】	40歳～74歳の国民健康保険被保険者	集団：8～9月 個別：8～11月
糖尿病性腎症重症化予防の微量アルブミン尿検査	対象者に対し、微量アルブミン尿検査を実施。	前年度の健診結果、HbA1c 6.0%以上かつ尿蛋白（-）または（±）の者	集団：8～9月 個別：8～11月
特定保健指導	健診結果から階層化し、動機づけ支援、積極的支援に判定された方に対し、初回面接、継続支援、評価を実施。	特定健康診査にて動機づけ支援または積極的支援と判定された方	8月～翌年9月頃
特定保健指導運動教室	特定保健指導の目標達成ができるようにメタボリックシンドロームに有効な運動の講話と実技を行う。	特定保健指導対象者のうち希望者	全8回
基本健康診査／保健指導	上記特定健康診査と同内容の項目を実施。また、有所見者には保健指導を実施し、健康への意識付けを図る。（個別健診は実施なし）	19歳～39歳の国保被保険者	集団：8～9月
人間ドック費用助成事業	人間ドック受診費用を助成。	国保加入の40歳～74歳で、国保税の未納がない方 40、45、50、55、60歳は5,000円、それ以外は10,000円を自己負担	6月から3月末まで。（受付は4月から）
医療費通知	医療費の適正化を図るため、医療費を通知する。	国保被保険者	年4回
後発医薬品（ジェネリック医薬品）差額通知	医療費の適正化を図るため対象者に通知。	・軽減効果が700円以上 ・慢性疾患等に対する医薬品	年2回
白石市保健事業推進員研修会	研修会等への参加・啓発活動を実施。	各自治会から2名以内の推薦（任期2年）	年1回～2回
白石市保健事業推進員寄合いワークショップ	地区公民館で開催。自分や地域が行っている健康に関する取り組み等について情報交換を行う。	白石市保健事業推進員	年1～2回
白石市健康づくりゲートボール大会	運動不足の解消及び体力作り活動を奨励し、健康の保持増進を図る。	市民全般	年1回
市民グラウンドゴルフ大会	運動不足の解消及び体力作り活動を奨励し、健康の保持増進を図る。	市民全般	年1回

<検診・がん検診>

事業名	内容	対象	実施時期等
肺がん検診	胸部X線撮影（50歳以上の方は、追加項目として喀たん検査を検診当日に申込可能）	65歳以上（40～64歳は希望者）	8～9月
前立腺がん検診	PSA検査（血液検査）	50歳以上の男性	8～9月
乳がん検診	マンモグラフィ、超音波検査	30歳以上（40歳以上は奇数年齢）の女性	6～7月
子宮頸がん検診	内診または超音波検査、視診、細胞診（医師の指示があった時は体がん検診も受診可能）	20歳以上の女性	（医療機関） 7～10月 （検診車） 12月
胃がん検診	胃部X線撮影（バリウム）	40歳以上	11月
大腸がん検診	便潜血反応検査	40歳以上	11月
骨粗しょう症検診	骨密度測定、検診結果の説明と生活指導	30. 35. 40. 45. 50. 55. 60. 65. 70歳の女性	10月
歯周病検診	歯科医師による歯周組織などの検査	30. 35. 40. 45. 50. 55. 60. 65. 70歳	9～2月

<成人保健事業>

事業名	内容	対象	実施時期等
保健栄養教室	健康全般および栄養に関する講話、運動実技、調理実習。	18歳以上の希望者	全8回
ヘルスマイト白石中央講習会	地域の健康づくりの実践活動の推進のための研修会。	ヘルスマイト会員	全3回
健康料理講習会	疾病予防や健康づくりに関する講話と調理実習。各地区公民館、集会所等で開催。	市民全般	全11回
市民公開講座生活習慣病予防運動教室	メタボリックシンドローム改善や生活習慣病予防に関する講話と運動実技。	市民全般	年5回
働き盛り世代から始める健康づくり推進事業	市内の企業に務める者を対象に運動習慣化を支援する。	市内企業従業員	10月～2月
健診結果説明会	健診結果の説明、生活習慣病予防に向けた個別相談を実施。	市民全般	11月
糖尿病性腎症重症化予防のための医療機関受診勧奨	受診勧奨対象者へ訪問や電話がけ、通知等を送付する。	特定健診結果、要医療該当者	随時
減塩プロジェクト	住民（主に20～50代）を対象に血圧や減塩に関する普及啓発事業を実施。	市民全般	通年
健康相談	健康全般に関する個別相談を実施。	市民全般	随時

<母子保健事業>

事業名	内容	対象	実施時期等
母子健康手帳交付	交付の際に保健師・栄養士による個別保健（栄養）指導を実施。	妊婦	月2回
妊婦健康診査（医療機関委託）	1人あたり14回の助成を実施。（多胎の場合は7回分追加）	妊婦	随時
妊婦さんと赤ちゃんのサロン	助産師・保健師・栄養士の個別相談とグループワークを実施。	妊婦と4か月児健診前の児と産婦ほか家族	月1回
妊婦歯科健康診査	歯科診療所にて歯科医師による健康診査、口腔衛生指導	妊婦	随時
こんにちは赤ちゃん事業（妊産婦・新生児・未熟児訪問事業）	助産師・保健師が訪問し心と体の健康状態の把握と支援を実施。	妊産婦と生後4か月までの乳児	随時
乳幼児健康診査・6か月児育児相談	子どもの健やかな成長の確認とともに、家族全体が、心身ともに健康な生活を送れることを目指した健診（育児相談）を実施。	4か月児、6か月児、1歳6か月児、2歳6か月児、3歳6か月児と保護者	月1回
乳児一般健康診査（医療機関委託）		2か月児 8～9か月児	随時
特定不妊治療費助成事業	特定不妊治療を行う夫婦に対し助成。	市内に1年以上住所を有する特定不妊治療を行う夫婦	随時
乳幼児相談	助産師、保健師、栄養士による個別相談を実施。	乳幼児期から就学前の相談希望者	月1回
発達相談	臨床心理士による発達全般に関する個別相談を実施。	乳幼児健診・相談の経過観察児	随時
遊びの教室	発達に心配のある児とその保護者に対し、遊びの場面を設定し児の理解を深めること等を目的に実施。保育士、保健師が担当。	乳幼児健診・相談にて発達等において支援が必要と思われる親子	年10回

<精神保健事業>

事業名	内容	対象	実施時期等
精神保健福祉相談	精神科医師による個別相談。	希望する本人及び家族、並びにその支援者	月1回
こころの健康づくり講演会	病気の理解や支援の仕方などをテーマに開催。	市民全般	随時
普及啓発事業	広報やイベント（総合検診会場や成人式等）において心の健康に関する普及啓発。	市民全般	随時
ゲートキーパー研修会	悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなぐことのできる人材の育成。	市職員、民生委員、児童委員、保健、福祉、介護にたずさわる支援者、教育関係者	年1回

〈実施状況〉

実施内容	令和2年度の取り組み内容と結果	評価
健診結果相談会	健診結果の読み方、健診項目ごとの理解とそれに関わる病態について生活習慣の振り返りと健康的な生活習慣の習得に向けた個別相談を実施した。	個別で実施したことで、より個人の生活に合わせた相談となった。今後も継続して実施予定。
生活習慣病重症化予防のための医療機関受診勧奨事業	健診結果から収縮期血圧 160mmHg以上または 100mmHg以上、血糖 HbA1c 6.5%以上、LDL コレステロール 180mg/dL以上、中性脂肪 500mg/dL以上に該当した者に医療機関受診勧奨と受診確認の返信用 FAX を同封して通知した。	白石市医師会の先生方の協力で、受診確認の FAX が順調に返ってきている。
減塩プロジェクト	市内のスーパーマーケットと連携し、調味料等の商品の陳列棚に減塩に関するポップの掲示や入口に減塩レシビを設置した。 がん検診会場に減塩に関する資料の掲示や減塩食品の展示を行った。また、減塩食品のサンプル配布を行った。	生活習慣病予防のために減塩が大切であること、また、塩分摂取目標量の PR に努める。
広報による周知	特定健診の時期に合わせ、生活習慣病予防や健診受診を促す記事を掲載した。	住民の興味を引き、自分の問題として捉えてもらえるような記事の掲載を行う。

(4) 地区分析を取り入れた生活習慣病対策 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

〈目標達成度〉

評価項目	ベースライン	平成31年度	令和2年度	目標値 (令和5年度)	評価
特定保健指導を地区公民館で開催	1回	2回	地区公民館で実施してきたが、利用者が少なく、開催方法を検討した結果、特定保健指導未利用者個別訪問に変更した。		地区による違いや未利用者の状態把握につながった。
地区ごとの健診結果の特徴を各講習会にて講話する	市全体の健診結果の特徴を講話	斎川の各自治会総会で斎川地区の健康状況を伝えた。	市全体の健康状況について講話を行った。寄り合いワークショップで各地区の健康状況を伝えた。	市全体に加え、開催地区の健診結果の特徴を講話。	保健事業推進員に地区の状況について情報提供を行った。

〈実施状況〉

実施内容	令和2年度の取り組み内容と結果	評価
特定保健指導未利用者個別訪問	大鷹沢地区と白川地区の特定保健指導未利用者31名に対し個別訪問を行った。	未利用者の状態把握につながった。
保健事業推進員研修会	研修会で地域の人口や高齢化率、出生数等の他に、健診受診率、有所見者の状況について情報提供を行った。	各自治会の代表である保健事業推進員が地域の状況を知り、地域の健康について気づくことで、次の活動につながるように支援する。
ヘルスマイト白石中央講習会	地域の健康づくりの担い手である食生活改善推進員に地域の健康情報を伝える。	食生活改善推進員が家族や地域の人に正しい健康情報を伝えることができるように支援する。
健康講習会	11地区で延べ161名の参加。「高血圧について」の講話の中で、地域の高血圧の状況についての講話と減塩食品のサンプルの配布を行った。	地域の高血圧の状況を参加者が把握し、自分と家族の健康づくりの一助とする。

(4) 地区分析を取り入れた生活習慣病対策 ●●●●●●●●●●

現状	地区別人口（P3）	白石地区人口が市内の人口の約半数以上を占めている。
	地区別特定健康診査受診率（P18）	他の地区に比べ、白石、大平地区の受診率が低い。
目的	各地区の健康状態や生活習慣を把握したうえで、その地区にあった健康対策や健康講話を実施することで、生活習慣病の予防に努める。	
具体的な対策	<p>○各地区の特性の把握</p> <p>KDBシステムを活用し、各地区のデータからみえる特性を把握する。また、保健事業推進員寄合いワークショップや健康料理講習会等で地区の住民から地域の健康に関することについて教えてもらう。</p> <p>○特性に合わせた保健指導の実施</p> <p>把握した特性から重点項目を決定し、優先順位をもって保健指導を実施していく。</p> <p>モデル地区を選定し、地区の特性や地区の健康課題について講習会等を利用して地域住民に伝えることで、その地区の特性や課題の対策を一緒に検討する。</p>	
保健事業	健康料理講習会、特定健康診査・特定保健指導、がん検診、国保データベースシステムにおける医療費分析・健診所見の分析	

目標値

評価項目	現状値 (平成30年度)	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特定保健指導を地区公民館で開催	1回	2回	特定保健指導未利用者個別訪問			
地区ごと健診結果の特徴を各講習会にて講話	市全体の講話	全地区の保健事業推進員を対象に地区ごとの健診結果の特徴について講話を行った。				

第4章 計画の推進

1 データヘルス計画の評価と見直し

各事業についてはPDCAサイクルによる評価・点検を行い、進捗状況を白石市健康づくり推進協議会や白石市国民健康保険運営協議会において報告します。

最終年度には目標値の達成状況を踏まえ、実施体制や実施方法について見直し、計画の改定を行います。

2 計画の公表・周知

本計画は、広報及びホームページ等に掲載して市民に広く周知します。

3 個人情報の保護

各種保健事業で得られる個人情報の取り扱いについては、「白石市個人情報保護条例」、「個人情報の保護に関する法律」及びこれに基づくガイドラインを遵守します。

また、保健事業を委託する際には、個人情報の厳重な管理や目的外使用の禁止等を契約書に定めるとともに、委託先の取扱い状況を管理します。

4 その他

本計画の推進については、白石市医師会・仙南歯科医師会白石支部・仙南薬剤師会をはじめとする市内外の関係機関等や地域住民のほか、市民の健康保持増進に関与している部署と連携を図りながら事業を実施します。

第2期白石市国民健康保険 データヘルス計画

中間評価による改訂計画

令和3年3月

発行 白石市保健福祉部健康推進課
〒 989-0292
白石市大手町1番1号
TEL 0224-22-1362
FAX 0224-22-1320

